

教科・種目名 社会(歴史的分野)

| 採択基準 | 基本観点 | 発 行 者 名 | | |
|------|--------------------------------|---|--|--|
| | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
| | (2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 | 各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 | 各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 | 章の問い、節の問い、見開きの学習課題を構造化して設定し、単元を見通して思考・判断・表現する活動ができるようにしている。 |
| | 別表3 | 各章に探究課題、各節に探究のステップ、各見開きに学習課題を構造化して設定し、単元を見通して思考・判断・表現する活動ができるようにしている。 | 各見開きに学習内容を確認する課題と表現する課題とを段階的に設定している。各節ごとに、重要ポイントを捉える課題を設定している。 | 各章末では、年表や資料を用いて各時代のようすを整理・取得させ、例示された言語活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成を図ろうとしている。 |
| | (3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 | 生徒の興味・関心を高めるために、各所にコラムを配し、章末には学習を深める自主学習・自由研究を設定している。 | 生徒の興味・関心を高めるために、「歴史の窓」が配置され、テーマを分けて学習を深める自主学習・自由研究を設定している。 | 生徒の興味・関心を高めるために、「未来に向けて」など多くのコラムを配している。 |
| | 別表4 | また、章末には書き込み等の作業的ページもあり、自ら学習できるよう工夫している。 | また、章末には書き込み等の作業的ページもあり、自ら学習できるよう工夫している。 | 部末には学習を深める自主学習・自由研究を設定している。 |
| | (4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い | 学習指導要領に示していない内容を取り扱っていない。 | 学習指導要領に示していない内容を取り扱っていない。 | 学習指導要領に示していない内容を取り扱っていない。 |
| | 別表5 | | | |

| 発 行 者 名 | | | |
|--|--|---|---|
| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
| 各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 | 各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 | 各種資料を効果的に配置し、考察に役立つよう配慮している。 | 各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 |
| 各見開きに導入の問いとまとめの課題を示している。 | 各見開きに学習課題とそれを考察するための見方・考え方を示し、確認後に見方・考え方を働かせるための深める問いを設定している。 | 各見開きに学習課題を設定し、最後に確認する問いを示している。 | 各見開きに各種資料を配置し考察に役立つよう配慮している。 |
| 各章末では、政治・経済や世界とのつながり、変化についてまとめ、振り返る課題を示し、思考力・判断力・表現力等の育成を図ろうとしている。 | 各単元の始めに各時代を大観する資料などから視点を示し、時代の転換や特色を示し、思考力・判断力・表現力等の育成を図ろうとしている。 | 各単元末には、年表や資料を用いて各時代を大観し、その時代について表現する課題とする問いに取り組みせることで、思考力・判断力・表現力等の育成を図ろうとしている。 | 各単元の学習のまとめでは、資料や図表を活用して各時代の特色や転換についてとらえさせ、グループで課題に取り組み、最後に自分でまとめる活動を設定し、思考力・判断力・表現力等の育成を図ろうとしている。 |
| 生徒の興味・関心を高めるために、多くのコラムが各年代にバランスよく配置されている。 | 生徒の興味・関心を高めるために、複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できるように「チャレンジ歴史」が配置されている。 | 生徒の興味・関心を高めるために、各所に「歴史ビュー」が配置されている。 | 生徒の興味・関心を高めるために、ほぼ毎時間(90時間分)にコラムを配している。 |
| 学習指導要領に示していない内容を取り扱っていない。 | 学習指導要領に示していない内容を取り扱っていない。 | 学習指導要領に示していない内容を取り扱っていない。 | 学習指導要領に示していない内容を取り扱っていない。 |

教科・種目名 社会(歴史的分野)

| 採択基準 | 基本観点 | 発行者名 | | |
|---------------------|---------------|--|---|---|
| | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
| | (5) 他の教科等との関連 | <p>特設ページ(5箇所)が3分野で共通に掲載されており、関連させた学習が展開できるように工夫されている。</p> <p>また、他分野で掲載されている資料や特設ページには「分野関連マーク」が付いており、平行学習の地理的分野と公民的分野を意識した多面的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>他教科と関連があるページには、「他教科関連マーク」が付いており、2次元コードを読み取ることで該当教科書を参照することができる。</p> <p>人権の視点について、関連する内容を配慮しながら取り扱っている。</p> | <p>特設ページの脚注部に、地理、公民との関連を示す「関連マーク」をつけて、学習の連携や振り返りを図る工夫がなされている。</p> <p>巻末の歴史学習の終わりにでは、現代社会の課題と自分自身の関わりを考察する学習課題が設定され、公民的分野への橋渡しが図られるように構成されている。</p> <p>人権の視点について、関連する内容を丁寧に取り扱っている。</p> | <p>本分ページの下段には「小学校・地理・公民との関連」コーナーが設けられ、他分野とのスムーズな接続が考慮されている。</p> <p>章及び節単位に地図を配置し、地政学的に考察しやすくなっている。</p> <p>人権の視点について、関連する内容を積極的に取り扱っている。</p> |
| | 別表6 | | | |
| 3 使用上の便宜が工夫されていること。 | (1) 表記・表現の工夫 | <p>カラーバリアフリーに配慮している。ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。</p> <p>資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記している。</p> <p>資料を見開きで掲載した「資料から発見」では、対話的な活動を通して歴史への関心を高めさせる工夫がある。</p> <p>巻末に、五十音順に用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説している。</p> | <p>視力や色覚に関して、個々の特性に留意し、カラーユニバーサルデザインに基づく紙面の工夫がされている。</p> <p>ユニバーサルデザイン・フォントを使用し、1行の文字数を少なく表記している。</p> <p>資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記している。</p> <p>見開きごとにふりがな表記がされている。</p> | <p>カラーバリアフリーに配慮し、ユニバーサルデザイン・フォントを採用し、一つ一つの写真や絵図が大きい。</p> <p>資料として、「人物コラム」を多数(49名)配置し、歴史により親しみがもてる工夫がされている。</p> <p>巻末には、五十音順に「ひらがな」「カタカナ」併記で掲載し、関連ページ数を明記している。</p> |
| | 別表7 | | | |

| 発行者名 | | | |
|---|---|---|---|
| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
| <p>掲載されている資料には、吹き出しが設けられ、問いが設定されている。その問いは現代社会に繋がるように捉え方や地政学的に考察する工夫がなされており、平行学習の地理的分野と公民的分野を意識した学習展開が期待できる。</p> <p>章のまとめでは、時代を大きくとらえる設問が適切に配置されている。</p> <p>人権の視点について、関連する内容を分かりやすく取り扱っている。</p> | <p>本文ページの脚注の連携コーナーにおいて、地理・公民の学習に関わる事項を確認・活用できるようにしている。</p> <p>地図を多用するなかで空間的な見方から史実を的確に捉える能力を育成する工夫がなされている。</p> <p>また、公民との連携では、現代社会の諸課題について、その歴史的背景を明らかにすることで、公民的分野の学習につなごうと工夫されている。</p> <p>人権の視点について、関連する内容を歴史的観点から取り扱っている。</p> | <p>地図・年表・写真・グラフ・図版など歴史に関するさまざまな情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせるなど地理・公民学習につながる工夫がなされている。</p> <p>歴史学習の終わりに「学習のまとめ」ページがあり、現代の課題に結び付ける工夫がある。</p> <p>人権の視点について、関連する内容を積極的に取り扱っている。</p> | <p>豊富な地図・資料・グラフが配置され、地理・公民的分野と関連させる内容が多数ある。</p> <p>本編内の113テーマには、生徒自身の疑問や問いにつながる工夫がなされている。</p> <p>また、生徒が主体的に学ぶ工夫として、太字による記載がない工夫もある。</p> <p>資料には、簡潔な説明のみ記載され、主体的な学びの場を設定している。</p> <p>章単位で、歴史絵巻が配置され、歴史の流れを大観できるような工夫がされている。</p> <p>資料には、ポイントを抑える発問やイラストが用いられている。</p> <p>巻末に、五十音順に用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説している。</p> |
| | | | |
| <p>視力や色覚に関して、個々の特性に留意し、カラーユニバーサルデザインに基づく紙面の工夫がされている。またユニバーサルフォントも採用されている。</p> <p>唯一B判を採用している。</p> <p>資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記している。</p> <p>固有名詞・歴史用語にはすべて、ふりがな表記している。</p> <p>巻末索引は、五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。</p> | <p>カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを採用している。</p> <p>ふりがなは、大きめのゴシック体で表記している。</p> <p>資料には、読み取りから導きだされた、単元の学習の「めあて」が示されている。</p> <p>資料ごとに前後の時代が比較できるように小年表を配置するなど工夫がされている。</p> | <p>カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを採用している。</p> <p>資料も、見開きの上部と左右の端に配置され見やすさに配慮されている。</p> <p>巻末の索引では数多くの項目を取り上げ、学習を深めるための工夫をしている。</p> <p>巻末には12ページにわたる詳細な年表を掲載している。</p> | |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表1

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 | 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--------------------------------|-----------|--|---|--|---|--|--|---|
| 単元別ページ数と構成比率(合計ページ数に占める各単元の割合) | | ◇歴史へのとびら(12ページ) ◇古代までの日本(44ページ) ◇中世の日本(36ページ) ◇近世の日本(50ページ) ◇開国と近代日本の歩み(58ページ) ◇二度の世界大戦と日本(44ページ) ◇現代の日本と私たち(34ページ) | ◇歴史のとらえ方・調べ方(16ページ) ◇原始・古代の日本と世界(42ページ) ◇中世の日本と世界(36ページ) ◇近世の日本と世界(50ページ) ◇日本の近代化と国際社会(62ページ) ◇二度の世界大戦と日本(46ページ) ◇現代の日本と世界(35ページ) | ◇歴史のとらえ方と調べ方(12ページ) ◇古代国家の成立と東アジア(44ページ) ◇武家政権の成長と東アジア(36ページ) ◇武家政権の展開と世界の動き(54ページ) ◇近代国家の歩みと国際社会(62ページ) ◇二度の世界大戦と日本(46ページ) ◇現在に続く日本と世界(30ページ) | ◇歴史との対話(9ページ) ◇古代までの日本(48ページ) ◇中世の日本(40ページ) ◇近世の日本(52ページ) ◇近代の日本と国際関係(58ページ) ◇二つの世界大戦と日本(42ページ) ◇現代の日本と世界(30ページ) | ◇私たちと歴史(8ページ) ◇古代までの日本と世界(50ページ) ◇中世の日本と世界(42ページ) ◇近世の日本と世界(52ページ) ◇日本の近代化(62ページ) ◇二度の世界大戦と日本(40ページ) ◇現代の日本と世界(38ページ) | ◇序章(11ページ) ◇原始と古代の日本(50ページ) ◇中世の日本(34ページ) ◇近世の日本(52ページ) ◇近代の日本と世界(60ページ) ◇二度の世界大戦と日本(42ページ) ◇現代の日本と世界(33ページ) | ◇歴史への案内(8ページ) ◇原始・古代(44ページ) ◇中世(32ページ) ◇近世(48ページ) ◇近代(46ページ) ◇二つの世界大戦(62ページ) ◇現代(36ページ) |
| | | 【歴史のとらえ方】:4.3% 【古代】:15.8% 【中世】:13.0% 【近世】:18.0% 【近代】:36.7% 【現代】:12.2% | 【歴史のとらえ方】:5.6% 【古代】:14.6% 【中世】:12.6% 【近世】:17.4% 【近代】:37.6% 【現代】:12.2% | 【歴史のとらえ方】:4.2% 【古代】:15.5% 【中世】:12.7% 【近世】:19.0% 【近代】:38.0% 【現代】:10.6% | 【歴史のとらえ方】:3.2% 【古代】:17.2% 【中世】:14.3% 【近世】:18.6% 【近代】:35.9% 【現代】:10.8% | 【歴史のとらえ方】:3.2% 【古代】:17.2% 【中世】:14.3% 【近世】:18.6% 【近代】:35.9% 【現代】:10.8% | 【歴史のとらえ方】:2.8% 【古代】:17.1% 【中世】:14.4% 【近世】:17.8% 【近代】:34.9% 【現代】:13.0% | 【歴史のとらえ方】:2.9% 【古代】:15.9% 【中世】:11.6% 【近世】:17.4% 【近代】:39.1% 【現代】:13.1% |
| 全体 | 構成 | 時代の移り変わりを、世紀の区切りを目印にし、各時代の特徴的な写真や絵画を小学校で学習した資料と並べ、「歴史の流れ」を意識しやすいように工夫している。 | 各時代の特徴的な写真や絵画を取り上げ、発問するかたちで資料を読み解かせ、興味・関心を導き出そうとしている。 | 各時代の政治や経済などの特徴的な場面をイラストで視覚的に示し、発問や比較させることで、興味・関心を導き出そうとしている。 | 帯年表を用い、各時代の特徴的な写真や絵画を取り上げ、日本史と世界史を関連付けて、興味・関心を導き出そうとしている。 | 各時代の特徴的な写真や絵画とともに世界地図と年表を取り上げ、日本の歴史を時間軸と空間軸からグローバルに概観し、学習の目的をつかめるようにしている。 | 各時代の特徴的な写真や絵画を取り上げ、発問するかたちで興味・関心を導き出そうとしている。また、歴史の流れを大観するページと時代の特色をつかむページの2部構成としている。 | 各時代の特徴的なテーマを設け、それに関連する写真や絵画などを世界地図とともに取り上げ、日本の歴史をグローバルな視点からとらえさせる工夫をしている。 |
| | 1時間の学習の流れ | 1時間の学習内容を見開きに収め、「学習内容の見通し→学習内容の展開→学習内容の振り返り」の流れを構造化することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 1時間ごとに学習課題を設定し、主体的に課題を解決するための「見通し」を持たせ、活動的に課題解決を行う工夫をしている。 | 1時間の学習内容を見開きに収め、「学習内容の見通し→学習内容の展開→学習内容の振り返り」の流れを構造化することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 興味・関心を引き出すため、冒頭に学習内容を象徴する資料を掲載し、タイトルにも同様の工夫がみられる。 | 1時間の学習内容は基本的に見開きに収められているが、文化史は4ページで構成している。 興味・関心を引き出すため、冒頭に学習内容を象徴する資料を大きく掲載することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 1時間ごとに学習課題を設定し、課題を解決するための豊富な資料や解説がある。 | 1時間の学習内容を見開きに収め、「学習内容の見通し→学習内容の展開→学習内容の振り返り」の流れを構造化することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 興味・関心を引き出すため、冒頭に学習内容を象徴する資料を大きく掲載したり、学習に必要な語句の用語解説を整理したりしている。 | 1時間の学習内容を見開きに収め、「学習内容の見通し→学習内容の展開→学習内容の振り返り」の流れを構造化することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 1時間ごとに学習課題を設定し、学習課題を解決する手がかりとなる見方・考え方を欄外に明示している。また、学習課題の理解を深めるために、見方・考え方を働かせる問いを示している。 | 1時間の学習内容を見開きに収め、「学習内容の見通し→学習内容の展開→学習内容の振り返り」の流れを構造化することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 興味・関心を引き出すため冒頭に学習内容を象徴する資料を掲載している。 | 1時間の学習内容を見開きに収め、興味・関心を引き出すため、冒頭に学習内容を象徴する資料を大きく鮮明に掲載することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。タイトルにも同様の工夫がみられる。 |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表1

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|---|--------------|--|--|--|
| 全体の構成 | 1 時間の学習の流れ | 1時間の学習の最後には、「チェック」「トライ」と題した振り返り課題を設定し、知識の習得と言語活動により学習が定着するようにしている。 | 1時間ごとに学習課題を設定し、学習内容の理解を深めるよう豊富に資料を配し、多面的・多角的な思考を促す工夫がある。 1時間の学習の最後には、「確認」「表現」と題し、知識の習得と思考力・判断力・表現力の育成を促す課題を設定している。 | 1時間の学習の最後には、「確認しよう」「説明しよう」と題した振り返り課題を設定し、知識の習得と思考力・判断力・表現力の育成を促す工夫をしている。 |
| | 単元の学習内容の振り返り | 「基礎・基本のまとめ」と題した「年表」や「地図」、「構造図」を活用した空欄補充形式による基本事項の確認と、「まとめの活動」と題した様々な思考ツールを活用して時代の特色をとらえさせる課題を設けている。 | 「学習のまとめと表現」と題し、「年表」や「地図」、「構造図」で学習した内容の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育成する課題を設け、時代を大観できるよう工夫をしている。 | 「章の学習を振り返ろう」と題した課題を設定し、「年表」と「地図」で学習した内容を整理・確認させる作業がある。 習得した知識を活用しながら、文章で時代の特色を整理し、表現させることで時代を大観させる課題を設けている。 |
| 受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めるための「身近な地域の歴史」の調査事例 | | 地域の歴史を調べよう ◇大陸への玄関口・福岡(P56～57) ◇戦国時代の城下町・一乗谷(P92～93) ◇会津藩の政治と産業(P142～143) ◇多文化共生都市・神戸(P200～201) ◇東京大空襲の記憶を伝える(P244～245) ◇広島復興と平和への願い(P276～277) | 「身近な地域の歴史を調べよう」 ◇地域の遺跡や古墳を訪ねて(P36～37) ◇地域の寺社を訪ねて(P90～91) ◇地域の街道や港を訪ねて(P128～129) ◇明治期の面影を訪ねて(P182～183) ◇大正・昭和初期の面影を訪ねて(P226～227) ◇移り変わる戦後の街を訪ねて(P274～275) | 「歴史を探ろう」 ◇古墳から分かる当時の様子(P32～33) ◇東アジアに開かれた窓口 博多(P72～73) ◇琉球とアイヌの人々の暮らし(P120～121) ◇昆布ロードと北前船(P130～131) ◇世界有数の百万都市江戸(P142～143) ◇世界に開かれた港横浜(P176～177) ◇移住と開拓が進む北海道(P182～183) ◇「絹の道」と日本の製糸業(P200～201) ◇発展する産業都市大阪・神戸(P228～229) ◇長野県から見る満州移民(P240～241) ◇戦場となった沖縄(P250～251) ◇日本の領土画定と近隣諸国(P266～267) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--|--|---|---|
| 1時間ごとに学習課題を設定し、課題を解決するための豊富な資料がある。 1時間の学習の最後には、「ステップアップ」と題した課題を設け、学習内容を振り返る構成となっている。 | 1時間の学習の最後には、「確認」と題した課題を設け、学習内容を振り返る構成となっている。 | 1時間ごとに学習課題を設定し、学習の最後には学習課題に対応した振り返りを行う言語活動を設け、思考力・判断力・表現力等を育成しようと工夫をしている。 | 本文に歴史の各場面の状況を具体的に記述し、その時代に生きた人々の姿をクローズアップすることで歴史的事象を身近に感じ、主体的に学習できるようにしている。 |
| 「まとめ」と題した課題を設定し、「表」と「地図」で学習した内容を整理・確認する作業がある。 習得した知識を活用しながら、文章で時代の特色を整理し、表現させることで時代を大観させる課題を設けている。 | 「学習の整理と活用」と題し、「年表」や「地図」、「表」で課題を整理・確認させる作業がある。 習得した知識を活用しながら、文章で時代の特色を整理し、表現させることで時代を大観させる課題を設けている。 | 「学習のまとめ」と題し、「年表」や「地図」で整理・確認する課題を設けている。 習得した知識を活用しながら、文章で時代の特色を整理し、時代を大観し、表現する課題や活動を設けている。 | 「ふりかえる」では、空欄補充や一問一答での知識の定着を図っている。 「学習のまとめ」では、「図版」や「表」を活用しながら文章で時代の特色を整理し、時代を大観し、表現する課題や活動を設けている。 |
| 「地域からのアプローチ」 ◇奈良(P46～47) ◇福岡(P58～59) ◇平泉(P68～69) ◇金沢(P150～151) ◇札幌(P205～206) ◇広島(P250～251) | 「でかけよう！地域調べ」 ◇史跡見学に行こう 平城宮跡を歩くー奈良県奈良市ー(P60～61) ◇歴史博物館に行こう 草戸千軒町遺跡を調べるー広島県福山市ー(P102～103) ◇城下町を訪ねよう 城下町姫路を調べるー兵庫県姫路市ー(P124～125) ◇近代化遺跡を訪ねよう 富岡製糸場を調べるー群馬県富岡市ー(P185) ◇戦争遺跡を訪ねよう 大坂の空襲を調べるー大阪府大阪市ー(P256～257) ◇地域の環境の歴史を調べよう 公害克服の歴史を調べるー福岡県北九州市ー(P294～295) | 「地域の歴史を調べてみよう」 ◇大阪の歴史・ワクワク探検隊(P13～18) ◇横浜の歴史・ワクワク探検隊 世界に開かれた都市・横浜(P156～159) 「歴史新聞をつくろう」 (P290～291) | 「歴史への案内」 ◇地域の博物館で調べる(P132～133) 「歴史を体験する」 ◇地域の歴史を歩く(東京都小平市)(P132～133) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表1

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|---|--|---|--|---|
| 本文中 で取り 上げら れてい る「特 徴と創 意工夫 」に取 り扱わ れてい る事項 | 古代 までの 日本 | ◇資料から発見 ・絵巻物から古代の人々の 姿をとらえよう(P52~53) ◇もつと歴史 ・現代に生きる神話 (P54 ~55) | ◇東アジアの中の大和政 権(P34~35) | ◇大陸の影響を受けた天 平文化(P42~47) ◇唐風から日本風へ変わ る文化(P52~55) |
| | 中世 の 日本 | ◇資料から発見 ・屏風絵から中世の人々の 生活をとらえよう(P88~ 89) ◇もつと歴史 ・東アジア世界の国々の交 流と琉球文化(P90~91) | ◇行き交う海賊船と貿易船 (P78~79) ◇北と南で開かれた交易 (P80~81) ◇今につながる文化の芽 生え(P86~87) | ◇武士や僧侶たちが広め た鎌倉文化(P66~69) ◇庶民に広がる室町文化 (P88~91) |
| | 近世 の 日本 | ◇資料から発見 ・浮世絵から近世の人々の 生活や意識をとらえよう (P138~139) ◇もつと歴史 ・アイヌ文化とその継承 (P140~141) | ◇開かれた窓口(P120~ 121) ◇身分ごとに異なる暮らし (P124~125) ◇歴史を探ろう ・リサイクル都市・江戸の町 人(P140~141) | ◇戦国大名と豪商が担っ た桃山文化(P108~111) ◇江戸の庶民が担った化 政文化(P138~141) |
| | 近代 の 日本 と 世界 | ◇資料から発見 ・錦絵からの文明開化の様 子をとらえよう(P174~ 175) ◇もつと歴史 ・メディアの発達が日本を 変えた(P198~199) ・「解放令から水平社へ」 (P240~241) | ◇万機公論に決すべし (P168~169) ◇形づくられる日本(P176 ~177) ◇軍国主義の敗北(P246 ~247) | ◇欧米の影響を受けた近 代文化(P204~207) ◇近代都市に現れた大衆 文化(P224~227) |
| | 現代 との 世 界本 | ◇もつと歴史 ・日本のエネルギーのこれ まで(P272~273) ・震災の記憶を語りつぐ (P274~275) | ◇未来をひらくために (P282~283) | ◇大衆化・多様化する戦 後の文化(P274~277) |
| 「日本 の領 域」の 取扱わ れてい る事項 | 領域を示 した地 図、図 表、写真 等の内容 | ◇国境と領土の確定 (P178) ◇領土をめぐる問題の背 景(P180) | ◇形づくられる日本 (P177) ◇歴史を探ろう 隣国と向き合うために一 日本の領土問題をめぐる課 題(P268~269) | ◇新たな外交と国境の画 定(P179) ◇日本の独立と世界の動 き(P265) |
| | 「北方領 土」に 関する記 載のある 単元、内 容 | ◇国境と領土の確定 (P178) ◇領土をめぐる問題の背 景(P180~181) ◇占領下の日本(P252) ◇緊張の緩和と日本外交 (P261) | ◇独立の回復(P262~ 263) ◇歴史を探ろう 隣国と向き合うために 日本の領土問題をめぐる 課題(P268~269) | ◇新たな外交と国境の画 定(P179) ◇日本の独立と世界の動 き(P265) ◇歴史を探ろう 日本の領土画定と近隣諸 国(P266) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--|---|---|---|
| ◇人類の進化(P16~17) ◇古墳とヤマト政権(P34 ~35) | ◇チャレンジ歴史 ・考古学に挑戦!(P34~ 36) | ◇聖徳太子の国づくり (P46~47) ◇歴史ズームイン ・日本人の宗教観(P44) | ◇湖にゾウを追う(P24~ 25) ◇変わる気候、めぐる季節 (P26~27) ◇ゆるる東アジアの中で (P38~39) |
| ◇モンゴルの襲来と鎌倉 幕府への失望(P82~83) ◇産業の流通の発展と都 市・農村の変化(P92~94) ◇応仁の乱と戦国大名 (P96~97) | ◇チャレンジ歴史 ・承久の乱を通して、古代 から中世への変化を考え よう(P74~75) | ◇武士の文化と新しい仏 教(P80~81) | ◇都で、武士が戦う(P58 ~59) ◇荘園の人々(P60~61) ◇東国に幕府をつくる (P62~63) ◇銀と戦国大名(P82~ 83) |
| ◇ルネサンスと宗教改革 (P104~105) ◇豊臣秀吉の政策(P116 ~117) ◇江戸時代の社会の仕組 み(P122~123) ◇江戸時代初期の外交と 貿易(P124~125) | ◇チャレンジ歴史 ・江戸幕府のライバル対策 を通して、中世から近世へ の変化を考えよう(P136~ 137) | ◇社会の変化と享保の改 革(P136~137) ◇天保の改革と諸藩の改 革(P142~143) ◇歴史ズームイン ・浮世絵の影響(P146~ 147) | ◇倭寇がもたらした火縄銃 (P92~93) ◇僧が見た朝鮮の民衆 (P98~99) ◇江戸の町づくり(P100 ~101) ◇裏長屋に住む棒手振り (P120~121) |
| ◇開国と条約締結(P166 ~167) ◇明治維新から中央集権 国家へ(P172~173) ◇初期議会と条約改正 (P192~193) ◇アジアの民族運動 (P220~221) | ◇チャレンジ歴史 ・経済発展か、環境保全 か、足尾鉍毒事件を通し て考えよう(P216~217) ・戦後体制の言論統制とそ の影響を考えよう(P254 ~255) | ◇大日本帝国憲法の制定 と帝国議会(P192~193) ◇歴史ズームイン ・外国人が見た日本 (P208) ◇ベルサイユ条約と国際 協調の動き(P224~225) | ◇黒船を見に行こう(P150 ~151) ◇民衆がつくった憲法 (P172~173) ◇女性は太陽だった (P206~207) ◇赤紙が来た(P232~ 233) |
| ◇国際関係の変化と日本 の外交(P268~269) | ◇これからの世界と日本の 課題(P290~291) | ◇日本の現状とこれから (P280~281) | ◇国会を包囲する人波 (P260~261) |
| ◇明治初期の対外関係 (P183) ◇歴史へのアプローチ 日本の領土の変遷(P267) | ◇領土の画定と隣接地域 (P192) ◇歴史を掘り下げる 冷戦終了後の近隣諸国と の関係(P292) | ◇明治初期の外交と国境 の画定(P183) | ◇北・南の組み込み 国境を引くー領土画定と 外交ー(P177) |
| ◇国際関係の変化と日本 の外交(P268) ◇歴史へのアプローチ 日本の領土の変遷(P267 ~268) | ◇国際社会への復帰と55 年体制(P273) ◇歴史を掘り下げる 冷戦終了後の近隣諸国と の関係(P292~293) | ◇明治初期の外交と国境 の画定(P182~183) ◇歴史ズームイン わが国の領土をめぐる問 題の歴史ー近隣諸国との 課題(P266) ◇日本の現状とこれから (P280) | ◇インドも中国も来なかつ たー日本の独立ー(P257) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表1

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|-------------------|----------------------|---|--|---|
| 「日本の領域」の取扱われている事項 | 「竹島」に関する記載のある単元、内容 | ◇国境と領土の確定(P178) ◇領土をめぐる問題の背景(P180) | ◇形づくられる日本(P176~177) ◇歴史を探ろう 隣国と向き合うために一日本の領土問題をめぐる課題(P268~269) | ◇新たな外交と国境の画定(P179) ◇日本の独立と世界の動き(P265) ◇歴史を探ろう 日本の領土画定と近隣諸国(P267) |
| | 「尖閣諸島」に関する記載のある単元、内容 | ◇国境と領土の確定(P178) ◇領土をめぐる問題の背景(P180~181) | ◇形づくられる日本(P176~177) ◇歴史を探ろうー隣国と向き合うために一日本の領土問題をめぐる課題(P269) | ◇新たな外交と国境の画定(P179) ◇沖縄・北海道と「近代化の波」(P180) ◇日本の独立と世界の動き(P265) ◇歴史を探ろうー日本の領土画定と近隣諸国(P267) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--------------------------|---|---|------------------------|
| ◇歴史へのアプローチ日本の領土の変遷(P268) | ◇領土の画定と隣接地域(P192~193) ◇歴史を掘り下げる 冷戦終了後の近隣諸国との関係(P292) | ◇明治初期の外交と国境の画定(P183) ◇歴史ズームイン わが国の領土をめぐる問題の歴史 ー近隣諸国との課題(P267) ◇日本の現状とこれから(P280) | ◇戦場は中国だったー日露戦争ー(P189) |
| ◇歴史へのアプローチ日本の領土の変遷(P268) | ◇領土の画定と隣接地域(P192~193) ◇歴史を掘り下げるー冷戦終了後の近隣諸国との関係(P292~293) | ◇明治初期の外交と国境の画定(P183) ◇歴史ズームインーわが国の領土をめぐる問題の歴史ー近隣諸国との課題(P267) ◇日本の現状とこれから(P280) | ◇日本と清が、朝鮮でー日清戦争ー(P185) |

別表2

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--------------------------------------|--|---|--|---|
| 小学校での既習事項及び地理的分野、公民的分野での既習事項と関連付けた事項 | | ◇第1章「歴史のとびら」で、小学校での既習人物・文化財・出来事についてイラストと文字で示し、年表にまとめる方法を提示している。 ◇各単元の始めに小学校の学習内容を振り返っている。 ◇地理や公民の学習とつながりの強い内容には、分野関連マークを用いて示している。 | ◇第1章「歴史のとらえ方・調べ方」で、小学校での既習人物や建造物を中心に写真や図版で年代順にすぐろく形式でまとめているほか、人物カードづくりによるまとめ方を提示している。 ◇小学校での既習人物にはマークを付け、わかりやすいように工夫している。 ◇「歴史を探ろう」「身近な地域の歴史を調べよう」で、地理や公民の学習内容との関連をページ下に示している。 | ◇第1部「歴史のとらえ方と調べ方」で、小学校での既習人物・出来事を年代順にイラストで示している。 ◇技能をみがく「年代や時代を結びつける」で、小学校での既習人物をあげて世紀や時代の表し方を学べるようにしている。 ◇第2部「歴史の大きな流れと時代の移り変わり」で、小学校での学びや地理・公民での学びと歴史での学びの関連を示している。 ◇各本文ページの下部分に小学校・地理・公民との関連事項を示している。 ◇各単元の導入で、その単元で学習する内容と小学校で学んだ主な出来事との関連を年表の形式で示している。 |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--|--|--|---------|
| ◇第1章「歴史との対話」で、時代区分を、小学校での既習人物を基に、考える方法を紹介している。 | ◇第1編「私たちと歴史」で、小学校で既習の人物と文化遺産を年代順にイラストなどで示している。 ◇本文中に小学校での既習事項及び地理・公民との関連があるときはページの下部分にそれがわかるように示している。 | ◇序章で、小学校での既習人物を年代順に並べ、事項と関連付けて歴史の流れを振り返っている。 | 無 |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表2

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|---|---------------------------------|---|--|---|
| 本文 中で 取り 上げ られ てい る 事 項 | 古 代 ま で の 日 本 | ◇エジプト文明・メソポタミア文明・インダス文明・中国文明・ギリシャ・ローマ文明(P22~P27) ◇宗教のおこりと三大宗教(P28~P29) ◇遣隋使(P37) ◇遣唐使(P38) | ◇メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明・中国文明、ギリシャ・ローマ(P22~P27) ◇宗教のおこりと文明(P28~P29) ◇遣隋使(P40~P41) ◇遣唐使(P46) | ◇メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明・中国文明(P16~P19) ◇ギリシャとローマの政治と文明(P20~P21) ◇仏教・キリスト教・イスラム教の誕生(P22~P23) ◇遣隋使(P37) ◇遣唐使(P39) |
| | 中 世 の 日 本 | ◇日宋貿易(P67) ◇モンゴル帝国とユーラシア世界(P74~P75) ◇モンゴルの襲来(P76~P77) ◇日明貿易・朝鮮との貿易(P80~P81) | ◇日宋貿易(P65) ◇大陸をまたぐモンゴル帝国(P72~P73) ◇海から押し寄せる元軍(P74~P75) ◇勘合貿易(P79) | ◇平氏の政治と日宋貿易(P63) ◇海を越えて迫る元軍(P70~P71) ◇室町幕府と日明貿易(P76~P77) |
| | 近 世 の 日 本 | ◇中世ヨーロッパとイスラム世界(P100~P101) ◇ルネサンスと宗教改革(P102~P103) ◇ヨーロッパ世界の拡大(P104~P105) ◇ヨーロッパ人との出会い(P106~P107) ◇朝鮮侵略(P111) ◇積極的な貿易政策(P118) ◇鎖国下の対外関係(P120~P121) ◇異国船打払令と大塩の乱(P136) ◇イギリスとアメリカの革命(P150~P151) ◇フランス革命(P152~P153) ◇ヨーロッパにおける国民意識の高まり(P154~P155) ◇ロシアの拡大とアメリカの発展(P156~P157) ◇産業革命と資本主義(P158~P159) ◇欧米のアジア侵略(P160~P161) ◇開国と不平等条約(P162~P163) | ◇教会と「コーラン」の教え(P98~P99) ◇ルネサンスと宗教改革(P100~P101) ◇ヨーロッパ人の大航海(P102~P103) ◇鉄砲とキリスト教の伝来(P104~P105) ◇南蛮貿易(P105) ◇秀吉の外交と朝鮮侵略(P111) ◇朱印船貿易と日本町(P118) ◇江戸時代の国際関係(P120~P121) ◇外国船の接近(P136) ◇イギリスの革命(P148~P149) ◇アメリカの独立革命とフランス革命(P150~P151) ◇イギリスの産業革命(P152) ◇近代化と列強の成立(P155) ◇アジアの植民地化と抵抗(P156~P157) ◇ペリーの来航と開国(P160~P161) ◇新しい国際関係の確立(P174~P175) | ◇ヨーロッパの変革(P94~P95) ◇大航海時代の幕開け(P96~P99) ◇鉄砲の伝来・キリスト教の伝来・南蛮貿易(P100~P101) ◇文禄・慶長の役(P107) ◇東アジアと朱印船貿易(P114) ◇四つに絞られた貿易の窓口(P116~P117) ◇市民革命の始まり(P148~P149) ◇人権思想からフランス革命へ(P150~P151) ◇産業革命と資本主義の成立(P152~P153) ◇欧米諸国の近代国家建設(P154~P159) ◇外国船の来航と幕府の対応(P160) ◇アメリカ船の来航と開国(P164) ◇日清修好条規の締結・征韓論と日朝修好条規の締結(P178~P179) ◇朝鮮をめぐる対立日清戦争(P192~P193) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--|---|---|---|
| ◇メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明・ギリシア文明・ローマ帝国・中国文明(P18~P23) ◇宗教のおこり(P24~P25) ◇遣隋使(P36~P37) ◇唐(P38) | ◇メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明・中国文明(P20~P22) ◇ギリシャ・ローマの文明(P24~P25) ◇文明と宗教ー世界の宗教の誕生と広まりー(P26~P27) ◇遣隋使・遣唐使(P40) | ◇メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明・中国文明(P30~P31) ◇ギリシャとローマの文明(P32~P33) ◇世界の宗教と日本(P42~P43) ◇遣隋使(P47) ◇遣唐使(P51) | ◇メソポタミア文明・エジプトの文明・インドの文明・中国の文明(P15~P21) ◇古代ギリシアとローマ(P22~P23) ◇十字架のイエス(P23) ◇イスラムの拡大(P46~P47) ◇遣隋使(P38) ◇遣唐使(P40) |
| ◇日宋貿易(P67) ◇モンゴルの襲来(P82) ◇勘合貿易・日朝貿易(P86~P87) | ◇日宋貿易(P71) ◇元の襲来(P83~P84) ◇勘合貿易(P90) | ◇日宋貿易(P75) ◇元寇と鎌倉幕府の衰え(P82~P83) ◇勘合貿易(P88~P89) | ◇宋との交易(P57) ◇一つにつながるユーラシア(P68~P69) ◇勘合貿易(P73) |
| ◇ルネサンスと宗教改革(P104~P105) ◇大航海時代とヨーロッパの海外進出(P106~P107) ◇鉄砲伝来・南蛮貿易・キリスト教の伝来(P112~P113) ◇朝鮮侵略と日明交渉(P116~P117) ◇貿易振興と朱印船・禁教と貿易統制(P124~P125) ◇対外関係と四つの窓口・長崎貿易(P126~P127) ◇対外的な危機(P140~P141) ◇異国船打払令(P146) ◇市民革命の時代(P156~P159) ◇産業革命と社会の変化(P160~P161) ◇アメリカの発展とロシアの東方開発(P162~P163) ◇欧州列強のアジア侵略(P164~P165) ◇開国と条約締結(P166~P167) ◇明治初期の対外関係(P182~P183) | ◇イスラム教の世界とキリスト教の世界(P112~P113) ◇つながれてゆく世界(P114~P115) ◇鉄砲とキリスト教の伝来(P116) ◇秀吉の海外政策(P120~P121) ◇朱印船貿易から鎖国へ(P128~P129) ◇朝鮮との国交回復(P130) ◇産業革命(P162~P163) ◇王政から議会制へ(P164~P165) ◇アメリカの独立とフランス革命(P166~P167) ◇新興勢力の台頭(P168~P169) ◇ヨーロッパのアジア侵略(P170~P171) ◇外国船の接近(P172) ◇開国(P174~P175) ◇清や朝鮮との外交(P191) ◇領土の画定を目指して(P192) | ◇大航海時代(P108~P109) ◇宗教改革と海外布教活動(P109) ◇ヨーロッパ人の来航(P112~P113) ◇キリスト教の禁止・対外政策と朝鮮出兵(P117) ◇南蛮貿易(P119) ◇「鎖国」への道(P122~P123) ◇「鎖国」の時代に開かれていた窓口(P124~P125) ◇欧米諸国の接近(P140~P141) ◇市民革命と近代社会の成立(P164~P165) ◇産業革命と資本主義の成立(P166~P167) ◇欧米列強のアジア進出(P168~P169) ◇黒船来航の衝撃(P170~P171) ◇明治初期の外交と国境の画定(P182~P183) ◇日清戦争(P197) ◇日露戦争(P199) ◇国際的地位の向上と韓国併合(P200~P201) | ◇ポルトガルの進出・キリスト教の改革とイエズス会(P88~P89) ◇大西洋の東と西で(P90~P91) ◇鉄砲とキリスト教(P92~P93) ◇秀吉の朝鮮侵略(P98~P99) ◇江戸幕府の外交(P102~P103) ◇朝鮮・琉球との外交(P116~P117) ◇北からの黒船(P128~P129) ◇合衆国の成立(P138~P139) ◇フランス革命(P140~P141) ◇産業革命(P142~P143) ◇アヘン戦争と江戸幕府・琉球王国(P147) ◇ペリーの来航(P150~P151) ◇領土画定と外交(P176~P177) ◇日清戦争(P184~P185) ◇日露戦争(P188~P189) ◇韓国併合(P192~P193) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表2

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 | 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|---|----------|--|--|---|--|---|--|---|
| り 本 文 中 で 取 り 上 げ ら れ て い る 事 項 我 が 国 の 歴 史 の 大 き な 流 れ を 世 界 の 歴 史 背 景 に 基 本 的 な 知 識 、 概 念 や 技 能 が 習 得 を 図 る た め に 取 | 近代の日本と世界 | ◇近代的な国際関係(P176～P177) ◇欧米列強の侵略と条約改正(P186～P187) ◇日清戦争(P188～P189) ◇日露戦争(P190～P191) ◇韓国の植民地化(P192) ◇第一次世界大戦(P208～P209) ◇国際協調の高まり(P212～P213) ◇世界恐慌とブロック経済(P222～P223) ◇欧米の情勢とファシズム(P224～P225) ◇満州事変と軍部の台頭(P228～P229) ◇日中戦争の開始と長期化(P230) ◇第二次世界大戦の始まり(P232～P233) ◇太平洋戦争の始まり(P234～P235) ◇戦争の終結(P238～P239) | ◇アジアに迫る列強(P186～P187) ◇日清戦争と三国干渉(P188～P189) ◇義和団事件と日英同盟(P190～P191) ◇日露戦争とその影響(P192～P193) ◇韓国併合と辛亥革命(P194～P195) ◇第一次世界大戦と日本(P212～P213) ◇国際協調と民主主義の広がり(P216～P217) ◇世界恐慌とファシズムの台頭(P228～P229) ◇満州事変から国際連盟脱退へ(P232～P233) ◇軍国主義の高まりと日中戦争(P234～P235) ◇太平洋戦争の始まり(P242～P243) ◇第二次世界大戦の終結(P246～P247) | ◇世界が注目した日露戦争(P194～P195) ◇韓国併合と植民地・満州での政策・辛亥革命・中華民国(P196～P197) ◇第一次世界大戦の始まりと総力戦(P210～P211) ◇第一次世界大戦の拡大と日本(P212～P213) ◇ベルサイユ条約と民族自決・国際連盟の成立(P214～P215) ◇世界恐慌と行き詰まる日本(P232～P233) ◇欧米諸国が選択した道(P234～P235) ◇日中戦争(P238) ◇第二次世界大戦への道(P244～P245) ◇太平洋戦争と植民地支配の強化(P246～P247) ◇ポツダム宣言と日本の敗戦(P252～P253) | ◇欧米の帝国主義(P190～P191) ◇日清戦争(P194～P195) ◇日露戦争と東アジア(P196～P197) ◇日本の大陸進出と辛亥革命(P198～P199) ◇第一次世界大戦と国際関係(P214～P215) ◇ヴェルサイユ条約と国際関係(P218～P219) ◇世界恐慌とその対応(P232～P233) ◇ファシズムの台頭(P234～P235) ◇日中戦争の始まりと長期化(P240) ◇第二次世界大戦(P242～P245) ◇太平洋戦争の始まり(P244～P245) ◇戦局の悪化と戦争の終結(P248～P249) | ◇列強の動向とアジア(P202～P203) ◇朝鮮をめぐる対立(P204～P205) ◇朝鮮・満州をめぐる日本とロシアの対立(P206～P207) ◇日本の朝鮮支配(P208～P209) ◇第一次世界大戦(P224～P225) ◇大戦後の世界とアジアの民族運動(P228～P229) ◇世界恐慌と各国の対応(P238～P239) ◇日中全面戦争と戦時体制(P244～P245) ◇第二次世界大戦の始まり(P246～P247) ◇アジア・太平洋での戦争(P248～P249) ◇第二次世界大戦の終結(P252～P253) | ◇第一次世界大戦(P220～P221) ◇ロシア革命と第一次世界大戦の終結(P222～P223) ◇ベルサイユ条約と国際協調の動き(P224～P225) ◇世界恐慌と協調外交の行きづまり(P232～P233) ◇共産主義とファシズムの台頭(P234～P235) ◇満州事変と軍部の台頭(P236～P237) ◇日中戦争と戦時体制(P238～P239) ◇第二次世界大戦(P240～P241) ◇太平洋戦争(P242～P243) ◇戦争の終結(P246～P247) | ◇第一次世界大戦(P196～P197) ◇日本の参戦と中国(P198～P199) ◇世界恐慌と経済政策(P216～P217) ◇日本の中国侵略(P220～P221) ◇日中戦争(P224～P225) ◇第二次世界大戦海戦(P226～P227) ◇アジア太平洋戦争(P228～P229) ◇ヨーロッパの戦争(P230～P231) ◇日本の敗戦(P242～P243) |
| | 現代の日本と世界 | ◇占領下の日本(P252～P253) ◇新中国の成立と朝鮮戦争(P257) ◇占領政策の転換・平和条約と安保条約(P258～P259) ◇冷戦後の国際社会(P266～P267) ◇持続可能な社会に向けて(P270～P271) | ◇連合軍の日本占領(P256) ◇新しい中国と朝鮮戦争(P261) ◇独立の回復と国際社会への復帰(P262～P263) ◇安保改定と国交正常化(P266～P267) ◇冷戦終結後の世界(P276～P277) ◇アジアの成長と課題(P279) ◇世界の中の市民の一人として(P282～P283) | ◇連合軍の日本占領(P258) ◇中国の新国家と朝鮮戦争(P263) ◇平和条約の調印と国際連合への加盟(P264) ◇55年体制と安保闘争(P265) ◇グローバル化が進む世界(P278～P279) ◇国際社会におけるこれからの日本(P282～P283) | ◇占領下の日本(P256～P257) ◇冷戦の時代(P262) ◇独立回復と日米安保条約(P264～P265) ◇国際関係の変化と日本の外交(P268～P269) ◇冷戦の終結(P274～P275) ◇今日の世界(P278～P279) | ◇占領と改革の始まり(P264～P265) ◇第二次世界大戦後の世界(P270～P271) ◇国際社会への復帰と55年体制(P272～P273) ◇東西対立と緊張緩和(P274～P275) ◇冷戦下のアジアと日本(P276～P277) ◇冷戦の終わりとグローバル化(P286～P287) ◇グローバル化のなかの日本(P288～P289) | ◇敗戦後の占領と再建(P262) ◇朝鮮戦争と日本の独立回復(P264～P265) ◇冷戦と日本(P268～P269) ◇冷戦と昭和の終わり(P272～P278) ◇地域紛争とグローバル化(P278～P279) | ◇占領と日本の民主化(P248～P249) ◇朝鮮戦争と冷戦(P254～P255) ◇日本の独立(P256～P257) ◇日米安保条約の改定(P260～P261) ◇第三世界と東西陣営(P264～P265) ◇中東戦争と石油危機(P268～P269) ◇日中国交正常化と東アジア(P270～P271) ◇冷戦の終結と新たな戦争(P272～P273) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表2

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|---------------------------------|---|--|--|
| 時代の区分やその移り変わりに気付く学習で取り上げられている事項 | <p>【第1章歴史へのとびら】 ◇「歴史の流れ」で、小学校で学習した主な人物や文化財、出来事等のイラストを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。 ◇1節の「2 歴史の流れのとらえ方」と「スキル・アップ 2 年表にまとめよう」で、小学校で学んだ人物・文化財・出来事をあげ、それらを年表に整理するページを設けている。 ◇各見開きの下部分に年表を表示し、そのページの内容が年表中のどの部分にあたるのかを記号や色で示している。</p> <p>◇1節の「1 時期や年代の表し方」と「スキル・アップ 1 年表を読み取ろう」で、時代区分の表し方などについて説明している。</p> | <p>【第1章歴史のとらえ方・調べ方】で、歴史すごろくを使い、歴史の流れをとらえられるようにしている。 ◇各見開きの見出しの上に年表を表示し、そのページの内容が年表中のどの部分にあたるのかを黄色で示している。 ◇各章末にある「学習のまとめと表現」で、時代の移り変わりを確かめる学習活動を設けている。</p> <p>◇「時代の分け方・年表の見方を振り返ろう」で、年表を用い、時代区分や年代の表し方について説明している。</p> | <p>【第1部歴史のとらえ方と調べ方】 ◇「歴史をたどろう」のページを設け、小学校で学習した主な人物や文化財、出来事等のイラストを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。 ◇「技能をみがく1」で、小学校で学んだ人物を例に、年代と時代を結び付ける学習を説明している。 ◇各見開きの右端に年表を設け、そのページの内容が年表中のどの部分にあたるのかを色で示している。 ◇「タイムトラベル」のページを設け、小学校で学習した主な人物のイラストや文化財、出来事等を年代順に並べ、歴史の流れを整理している。 ◇「章の学習を振り返ろう」で、学んだことを年表等、用いながら時代の移り変わりとともに確かめられるようにしている。</p> <p>◇第1部第1節「歴史の流れと時代区分」で、年代の表し方と時代区分について説明している。</p> |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|---|--|---|---|
| <p>◇各章の導入において、年表を示し、歴史の大きな流れがつかめるようにしている。</p> <p>◇「第1章歴史との対話」で、年代の表し方や時代区分について説明している。</p> | <p>【第1編私たちと歴史】で、小学校で学習した主な人物や文化財、出来事等のイラストを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。 ◇各編の導入と振り返りで、年表を用いて時代の流れを整理している。 ◇各見開きの右端に年表を設け、そのページの内容が年表中のどの部分にあたるのかを色で示している。 ◇随所に、そのページの内容・主題に沿った事項のみを取り上げた年表を設けている。 ◇チャレンジ歴史「承久の乱を通して、古代から中世への変化を考えよう」で、時代の移り変わりについて考察しようとしている。</p> <p>◇年代・時代区分の表し方で、年代の表し方や時代区分について説明している。</p> | <p>【序章歴史探検！】で、小学校で学習した主な人物や文化遺産、出来事等のイラストを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。 ◇各章のとびらのページで歴史モノサシを使って、学習内容を概観できるようにしている。 ◇各章の導入で、「鳥の目で見る歴史絵巻」として、人物や出来事のイラスト等で学習内容を概観できるようにしている。 ◇各章のまとめで年表を用いて時代を振り返っている。</p> <p>◇「年代や時代区分の表し方」で、歴史モノサシを使って、年代や時代区分について説明している。</p> | <p>◇各章の導入ページで、その章での学習内容がいつ頃の年代かを、紀元前1000年～紀元2000年のスケール年表で示している。</p> <p>◇「年代の表し方、時代の区切り方」で、年代や時代の表し方や時代区分について説明している。</p> |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表3

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 | 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|-------------------------|---|---|--|---|--|--|---|
| 言語活動を充実させるための工夫 | <p>◇身近な地域の歴史について調べたことを発表する際に、興味関心を高め、わかりやすい発表にするための留意事項を示している。</p> <p>◇「みんなでチャレンジ」で、グループで協力しながら取り組む、対話的な活動を設定している。(22 箇所)</p> <p>◇各見開きの「トライ」で、そのページの内容から語句指定や字数制限を伴って説明する課題を設定している。</p> <p>◇「地域の歴史を調べよう」で、話し合いを通じてまとめ、ポスターセッションや歴史新聞などで発表する方法について示している。</p> <p>◇各章の「基礎・基本のまとめ」の「節の課題を解決しよう」で、課題に対して自由記述で答える活動を設定している。</p> <p>◇各章の「まとめの活動」で、思考ツールを使ってまとめ、説明する課題を設定している。</p> <p>◇「資料から発見！」で、対話的な活動を通して、歴史への関心を高め、資質・能力を育成する工夫をしている。</p> | <p>◇各見開きの「表現！」で、学習内容を自分の言葉で説明したり、対話したりすることで深める課題を設定している。</p> <p>◇「身近な地域の歴史を調べよう」で、インタビューをして調べたり、話し合っで考察したり、まとめて発表したりする活動を示している。</p> <p>◇各章ごとの「学習のまとめと表現」で、学習内容に関連して説明する課題を設定している。</p> | <p>◇各見開きの「説明しよう」で、学習内容を自分の言葉で説明する課題を設定している。</p> <p>◇各節の「問いを振り返ろう」で、節の学習内容を自分の言葉で説明する課題を設定している。</p> <p>◇「章の学習を振り返ろう」で、章の問いに対して自分の考えをグループで話し合い、それをもとにまとめて説明する活動を設定している。</p> <p>◇「多面的・多角的に考えてみよう」で、論争的な課題を設け、論点の整理から話し合いを通して自分の考えを深める活動を設定している。</p> | <p>◇各章の「まとめ」で、学習内容を振り返り、指定語句や自分の言葉を使って文章でまとめる課題を複数設定している。</p> <p>◇「歴史との対話」の中で、「歴史を大きく変えた人物」を自分の言葉で人物カードにまとめる方法を示している。</p> <p>◇「身近な地域を調べよう」の「3 レポートをつくって発表しよう！」で、レポートの書き方や発表でのわかりやすい伝え方などについて紹介している。</p> | <p>◇「学習の整理と活用」の「アクティビティ」で、習得した知識をもとに自分の考えを自由記述する欄を設けている。</p> <p>◇「チャレンジ歴史」で、資料をもとに、対話を通じて課題に取り組み、最後に自分の言葉でまとめる活動を設定している。</p> <p>◇「スキル UP」で、調べ学習について、説明の仕方やまとめ方について示している。</p> | <p>◇各見開きの「学習のまとめ」で、指定語句などを使って学習内容を確認したり、レポートや論述形式でまとめたりするなど、多様な言語活動に取り組めるようにしている。</p> <p>◇【「私の歴史博物館」をデザインしてみよう】で、博物館の展示室に設ける資料や解説文を考える活動を通して言語活動の充実を図っている。</p> <p>◇各章の「学習のまとめ」で、資料の読み取りを通して、時代像を文章で課題を設定している。</p> <p>◇「歴史学習のまとめ」で、「日本の歴史を大観する」という課題に取り組み、最後に「日本の歴史を学んで」というテーマで 400 字の文章を作成し自分の言葉で歴史を表現する課題を設定している。</p> | <p>◇各部の「学習のまとめ」で、指定語句を使って学習内容を説明する課題を設けている。</p> <p>◇「章をふりかえる」で、学習内容をまとめたり、話し合ったりする課題を設けている。</p> <p>◇「歴史を体験する」の「対話・討論にチャレンジ」で、『学問のすゝめ』をどう読むかについて、話し合う活動を設定している。</p> <p>◇「歴史を体験する」の「地域の歴史を歩く」で、インタビューをしたり、調べたことをグループやクラスで発表したりする活動が紹介されている。</p> |
| 歴史的事象を多面的、多角的に考察するための工夫 | <p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置して歴史的事象を多面的・多角的に考察するための工夫をしている。</p> <p>◇「見方・考え方」で、歴史的な見方・考え方を活用して考察するための工夫をしている。</p> | <p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。</p> <p>◇歴史にアプローチで、歴史の「見方・考え方」を働かせる学習の進め方について説明している。</p> <p>◇コラム「歴史の窓」で、本文の学習内容について、その歴史的事象の背景や影響を扱っている。</p> | <p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。</p> <p>◇「タイムトラベル」で、連続する二つの時代を比べて時代の特色をつかめるようにしている。</p> <p>◇「歴史的な見方・考え方を働かせよう」で、社会の出来事を多面的・多角的に考える力を育成する工夫をしている。</p> | <p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇図版などを読み取るための視点を示している。</p> <p>◇「歴史を考えよう」で、美術作品や史料・地図などを取り上げて、歴史を多面的・多角的に考察するための工夫をしている。</p> <p>◇「地域からのアプローチ」で、地域を通した歴史学習を紹介し、歴史を学ぶことの現代的な意味を考えている。</p> | <p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。</p> <p>◇各見開きの「見方・考え方」「深めよう」で、学習課題の解決の手がかりや、理解を深めるための問いを示している。</p> | <p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。</p> <p>◇「歴史ズームイン」「歴史レビュー」「歴史・ワクワク調査隊」で、様々な資料を提示し、歴史的事象を多面的・多角的に考察するための工夫をしている。</p> | <p>◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。</p> <p>◇本文であえて太字を用いて語句を強調せず、生徒が自分なりに歴史的事象を捉えることができるようにしている。</p> <p>◇巻末の年表で、時代区分に「北海道など」「本州など」「沖縄など」の欄を設け、各地の出来事を具体的に捉えられるようにしている。</p> |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表3

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--|--|--|--|
| 歴史的事象を多面的、多角的に考察するための工夫 | | ◇「歴史を探ろう」で視点を多面的・多角的に学習内容を捉えなおせるように工夫している。 ◇「歴史を探ろう」で「働く女性や子どもたち」のように社会を支えた人々を取り上げるなど、歴史上の多様な人物を取り上げ、各時代における考え方や、対立などについて理解し、考察できるようにしている。 ◇巻末の学習資料で、理解を支援できるようにしている。 | ◇「章の学習を振り返ろう」で、この章の問いで働かせる見方・考え方の例を示している。 ◇「歴史を探ろう」「地域史」で歴史を地域の視点から見ることで、日本の歴史を多面的に捉えられるようにしている。 ◇「多面的・多角的に考えてみよう」で、本文ページと関連した歴史的な事象をテーマに、異なる意見や史料を通して考察するための工夫をしている。 |
| 各時代の特色をとらえ、自分の言葉で表現できる(表現する)ように例示されている | 古代までの日本 ◇基礎・基本のまとめ「古代までの学習を振り返ろう」 ・年表について、次の問いに答えましょう。 (1)「邪馬台国」と「魏」とが矢印で結ばれている理由を説明しましょう。 (2)「聖徳太子の政治」と「飛鳥文化」「遣隋使」との関係の説明しましょう。 (P58) ◇節ごとの探究のステップ課題 ①世界の古代文明や宗教は、どのような地域や環境の下でおこったのでしょうか。 ②日本の社会は、大陸とのつながりの中で、どのように変化したのでしょうか。 ③東アジアでの交流の中で、なぜ律令国家が成立し、変化していったのでしょうか。 | ◇各見開きの「表現！」で、学習内容と関連した事項を「説明しよう」という課題を提示し、時代の特色を自分の言葉で表現できるようにしている。 ◇学習のまとめと表現・古代の文化について説明しよう(P57) ◇学習のまとめと表現 ・中世の政治や文化について説明しよう。 ・図を使って、鎌倉幕府の政治の仕組みについて説明してみよう。 ・写真やイラストを使って、室町時代に大成された能(能楽)の特徴やその背景を説明してみよう。(P93) ・中世の特色について、古代からどのような変化が生まれたのかを表にまとめて考えてみよう。 ・まとめた内容をもとに、中世がどのような時代だったかを表現し、その理由を説明しよう。(P94) | ◇各見開きの「説明しよう」で、学習内容と関連した事項を自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇各節の最終ページに、節の問いを振り返り、説明する課題を提示している。 ◇「章の学習を振り返ろう」 ・章の問いの答えを理由とともに説明しよう。 ・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに説明しよう。(P57) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--|---|---|---|
| | ◇「テーマ別さくいん」を設け、歴史学習を振り返って、それまでとは異なった視点や方法で、災害や政治参加などのテーマに取り組めるようにしている。 ◇「歴史+α」「先人に学ぶ」「地域に学ぶ」で、歴史的な事象を多面的・多角的に考察するための工夫をしている。 | | ◇巻末の年表で、「政治・経済」「文化・宗教」「世界の動き」の欄を設け、図版や写真資料を用いて関連を掴めるようにし、歴史的な事象を多面的・多角的に考察するための工夫をしている。 |
| ◇章のまとめ ・文明が大きな川の流域で登場したのはなぜか考えてみよう。 ・どのようにしてクニが誕生したか、まとめてみよう。 ・大化の改新で目指されたのはどのような国家であったか、それまでの国家のあり方と比較してみよう。 ・律令の下で、政府はどのように地方を支配したのだろうか。 ・平安時代の仏教について、奈良時代と比較して説明しよう。 ・摂関政治において、摂政や関白はどのように政治的権力をにぎったのか説明しよう。(P60~P61) | ◇各見開きの「確認」「深めよう」で、学習内容と関連した事項を、自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇とらえよう！「古代までの日本と世界」の特色 ・古代までの特色を説明しましょう。(P63) | ◇学習のまとめ「原始・古代の時代を振り返って考えてみよう」 ・資料を見ながら古代の日本の変化について考えましょう。 ・この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみましょう。(P67) | ◇第1章をふりかえる ・世界の古代文明に共通点はあるでしょうか。ちがいはあるでしょうか。まとめてみましょう。 ・この時代に、朝鮮半島や中国から、日本列島にもたらされたものをあげてみましょう。そのなかで、一番重要だと思うものとその理由を考えて、話し合いましょう。 ◇第1部原始・古代(1章・2章)学習のまとめ ・これまで学んできたことをふりかえり、人びとの生活や社会のようす、制度や文化はどのように変化していったのでしょうか。印象に残ったことを自分の言葉で書きましょう。(P53) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表3

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--|---------|---|---|--|
| 各時代の特色をとらえ、自分の言葉で表現できる(表現する)ように例示されている事項 | 古代までの日本 | ◇章ごとの探究課題 ・古代の日本では、どのように国家が形成されたのでしょうか。(P59) ◇まとめの活動 「古代日本のキーパーソンはだれだろう」について、クラゲチャートで根拠を整理し、この時代の特色を自分の言葉でまとめる。(P60～P61) | | |
| | 中世の日本 | ◇基礎・基本のまとめ「中世の学習をふり返ろう」 ・年表について、次の問いに答えましょう。 (1)「中継貿易」の矢印が「日本」と「中国」を結んでいます。これはどのようなことを意味しているか、説明しましょう。 ・資料について、次の問いに答えましょう。 (2)右の地図は、1400年ごろの主な守護大名と、1560年ごろの主な戦国大名を示したものです。二つの地図を比べて、変化した背景にどのような状況の変化があったか、説明しましょう。 ◇節ごとの探究のステップ課題 ①なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのでしょうか。 ②東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、日本ではなぜ多くの戦乱が起こったのでしょうか。 ◇章ごとの探究課題 ・中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか。(P95) | ◇各見開きの「表現！」で、学習内容と関連した事項を「説明しよう」という課題を提示し、時代の特色を自分の言葉で表現するようにしている。 ◇学習のまとめと表現 ・中世の政治や文化について説明しよう。 ・図を使って、鎌倉幕府の政治の仕組みについて説明してみよう。 ・写真やイラストを使って、室町時代に大成された能(能楽)の特徴やその背景を説明してみよう。(P93) ・中世の特色について、古代からどのような変化が生まれたのかを表にまとめて考えてみよう。 ・まとめた内容をもとに、中世がどのような時代だったかを表現し、その理由を説明しよう。(P94) | ◇各見開きの「説明しよう」で、学習内容と関連した事項を自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇各節の最終ページに、節の問いを振り返り、説明する課題を提示している。 ◇「章の学習を振り返ろう」 ・章の問いの答えを理由とともに説明しよう。 ・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに説明しよう。(P93) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|---|--|---|---|
| ◇章のまとめ ・あなたは農村をまとめる武士です。最近隣村の人々があなたの領地に立ち入ってきます。あなたはどうに対応するでしょうか。だれをたよれば効果的か考えながら、対応策を練ってみよう。 ・あなたは農民です。今年天候が悪く、農作物の育ちが良くありませんでした。自分たちの生活を守るために、何ができるでしょうか。だれからの支配を受けていたのかを考えながら、対応策を練ってみよう。 ・あなたはある国の守護です。守護は幕府から任命される存在です。これから先も守護に任命され続けたあなたは、どのようにふるまうでしょうか。幕府から期待されていたことをふまえて、何をすべきか考えてみよう。 ・あなたは貴族(公家)で、都からはなれた国に荘園を持つ荘園領主です。本来おさめられるはずの年貢が、なかなか届きません。それはなぜでしょうか。どのようにすれば解決できるでしょうか。対応策を考えてみよう。 | ◇各見開きの「確認」「深めよう」で、学習内容と関連した事項を、自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇とらえよう！「中世の日本と世界」の特色 ・「法」に着目して、中世の特色に迫ろう ・なぜ、これらの法はつくられたのでしょうか。 ・中世の特色を説明しましょう。(P63) | ◇学習のまとめ「中世の時代をふり返って考えてみよう」。 ・この時代の人々の暮らしや社会がどうなったのか、このころのようすをえがいた下の絵を参考にして、前の時代のようにすにもふれながら、説明してみよう。 ・この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみましょう。(P101) | ◇第2部 中世(3章をふりかえる)学習のまとめ ・学習をふりかえり、(1)から(4)の課題を文章にまとめてみましょう。印象に残ったことや、さらに知りたいことがあったら、それらも書きましょう。グループやクラスで発表しましょう。(政治や社会の変化、アジアの国々や地域との交流、産業の発達や民衆の行動、仏教や文化) ・第2部・中世は、どのような人々が力を持った時代だったでしょうか。前の時代と比べながら、自分の考えを文章にまとめてみましょう。(P85) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表3

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--|-------|---|---|---|
| 各時代の特色をとらえ、自分の言葉で表現できる(表現する)ように例示されている事項 | 中世の日本 | ◇まとめの活動 「古代との比較から中世の特色を探ろう」について、Xチャートで事項を整理し、中世の特色をまとめる。(P96～P97) | | |
| | 近世の日本 | ◇基礎・基本のまとめ「近世の学習をふり返ろう」 ・年表について、次の問に答えましょう。 (1)「検地・刀狩」が矢印で「兵農分離」へと結ばれている理由を説明しましょう。 (2)「都市の繁栄」と「町人の台頭」が矢印で「元禄文化」へと結ばれている理由を説明しましょう。 ・資料について、次の問に答えましょう。 (3)江戸幕府は、大名を統制するためにどのような工夫を行っていたか、図と地図から考え、説明しましょう。 ◇節ごとの探究のステップ課題 (1)ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをむかえたのでしょうか。 (2)なぜ江戸幕府の支配は約260年も続いたのでしょうか。 | ◇各見開きの「表現！」で、学習内容と関連した事項を「説明しよう」「話し合おう」という課題を提示し、時代の特色を自分の言葉で表現するようにしている。 ◇学習のまとめと表現 ・近世の政治や学問について説明しよう。 ・図を使って、江戸幕府の政治のしくみについて説明してみよう。(P143) ・江戸時代の様子を描いた絵について、前の時代の様子と比較して説明してみよう。 ・学習した内容やまとめた内容をもとに、近世がどのような時代だったかを表現し、その理由を説明しよう。(P144) | ◇各見開きの「説明しよう」で、学習内容と関連した事項を自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇各節の最終ページに、節の問いを振り返り、説明する課題を提示している。 ◇「章の学習を振り返ろう」 ・章の問いの答えを理由とともに説明しよう。 ・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに説明しよう。(P147) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--|---|---|--|
| <p>・中世には、大陸との交流がひんぱんにありました。中国のそれぞれの王朝からどのような影響を受けたのか考えてみよう。</p> <p>・中世には、宗教や信仰心が人々の生活に大きな影響をあたえていました。次に挙げる事例において、宗教の関わりを考えたうえで、中世社会に宗教が大きな影響力を持った理由を考えてみよう。</p> <p>・ほかの事例もふまえ、中世社会において宗教が大きな影響力を持った理由を考えてみよう。(P100～P101)</p> | | | |
| <p>◇章のまとめ ・検地と刀狩によって、兵農分離がどのように進められたかをまとめてみよう。 ・豊臣秀吉・将軍と大名はどのような関係にあったか。 ・村の百姓と秀吉・将軍・大名とはどのような関係にあったか。 ・村は百姓によってどのように運営されたか。 ・村の運営は幕府や藩の支配とどのような関係にあったか。 ・江戸時代には庶民も旅行に出かけられるようになった。その理由をいくつかの視点から説明してみよう。(P152～P153)</p> | <p>◇各見開きの「確認」「深めよう」で、学習内容と関連した事項を、自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇とらえよう！「近世の日本と世界」の特色 ・江戸幕府の収入にどのような特色があるでしょうか。 ・近世の特色を説明しましょう。(P157)</p> | <p>◇学習のまとめ「近世の時代をふり返って考えてみよう」 ・資料を見ながら、江戸時代の社会はどんな社会になっていったのか、幕府の政治の内容もふまえて考え、説明してみよう。 ・この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみよう。(P153)</p> | <p>◇第4章をふりかえる ・次の人が統一事業で行った政策から、それぞれ印象に残ったものを一つ上げて、政治や人々の暮らしにどのような影響をおよぼしたか、説明しましょう。グループやクラスで発表しましょう。(P104) ◇第5章をふりかえる ・幕府の改革はうまく進んだでしょうか。気づいたことを書いてみましょう。 ◇第3部近世(4章・5章)のまとめ ・第3部の時代は、国内では「幕府と藩が全国を治める」、国外とは「4つの口を設けて交渉・交易する」という政策・方針でした。前の時代とくらべて、大きなちがいだと思う点を上げて、ちがいを説明しましょう。 ・(歴史上の人物へのインタビューの発表を聞いて)近世・江戸時代はどんな時代だったか考えましょう。</p> |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表3

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--|----------|--|--|---|
| 各時代の特色をとらえ、自分の言葉で表現できる(表現する)ように例示されている事項 | 近世の日本 | (3)産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革をせまられたのでしょうか。 ◇章ごとの探究課題 ・近世では、どのようにして社会が安定したのでしょうか。 ◇まとめの活動「近世で最も活躍した身分はどれだろう」について、マトリックスやピラミッドストラクチャを用いて主張を整理し、時代の特色をまとめる。(P146～P147) | | |
| | 近代の日本と世界 | ◇基礎・基本のまとめ「近代(前半)の学習をふり返ろう」 ・年表について、次の問いに答えましょう。 (1)「三国干渉」の「三国」とはどこか、またその結果どうなったか、説明しましょう。(P202) ◇章ごとの探究のステップ (1)なぜ欧米諸国は世界に先がけて発展したのでしょうか。 (2)欧米とアジアとの関係が変化中、なぜ江戸幕府はほろんだのでしょうか。 (3)なぜ日本ではほかのアジア諸国に先がけて、近代化が進んだのでしょうか。 (4)近代化を進める中で、なぜ日本は中国やロシアと戦争をすることになったのでしょうか。 ◇章の探究課題 ・近代化によって日本の国家や社会はどのように変化したのでしょうか。(P203) | ◇各見開きの「表現！」で、学習内容と関連した事項を「説明しよう」という課題を提示し、時代の特色を自分の言葉で表現するようにしている。 ◇学習のまとめと表現 ・近代の出来事や日本の近代化について、説明しよう。 ・図を使って、大日本帝国憲法下の政治のしくみについて説明してみよう。 ・絵と写真を使って、近代における産業の変化とその背景について説明してみよう。(P205) ・まとめた内容をもとに、近代がどのような時代だったかを表現し、その理由を説明しよう。(P206) ・人々の政治参加について説明しよう。 ・グラフから有権者数の変化を読み取り、これまで学習してきた時代の人々の政治参加について説明しよう。(P251) | ◇各見開きの「説明しよう」で、学習内容と関連した事項を自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇各節の最終ページに、節の問いを振り返り、説明する課題を提示している。 ◇「章の学習を振り返ろう」 ・章の問いの答えを理由とともに説明しよう。 ・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに説明しよう。(P209)(P255) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|---|---|--|--|
| | | | 前の時代とくらべたりしながら、まとめましょう。(P134～P135) |
| ◇章のまとめ ・イギリス・アメリカ・フランスは市民革命によって、政治社会がどのように変化したか。【身分 市民】の語句を用いてまとめてみよう。 ・イギリス・アメリカ・フランスで市民革命がどのように達成されたかをまとめてみよう。 ・日本が開国することになった背景と、その経過をまとめてみよう。 ・明治政府が教育・軍事・税制の点で、どのような改革をしたかを江戸時代と比較してまとめてみよう。 ・江戸時代の生活と明治時代の生活を比較してみよう。 ・産業革命で、経済・社会がどのように変化したかを以下の語句を用いてまとめてみよう。【工業 資本主義】 | ◇各見開きの「確認」「深めよう」で、学習内容と関連した事項を、自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇とらえよう！「日本の近代化」の特色 ・近代(前半)の特色を説明しましょう。(P219) ・近代(後半)の特色を説明しましょう。(P259) | ◇学習のまとめ「近代①」の時代をふり返って考えてみよう。 ・大日本帝国憲法の発布式のようすを見て、この憲法が制定されるまでの経緯について、次の言葉を使って説明しましょう。 ・この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみよう。(P213) ◇学習のまとめ「近代②」の時代をふり返って考えてみよう。 ・この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみよう。(P255) | ◇第6章をふりかえる ・欧米では、18世紀から19世紀に、政治や社会がどのように変化したか。(P158) ◇第4部近代(6章・7章)学習のまとめ ・時代の変化について考え、発表しましょう。 ・第4部・近代はどのような時代だったのでしょうか。前の時代とくらべながら、自分の考えを書きましょう。(P181) ◇第5部二つの世界大戦(8章・9章)学習のまとめ ・第5部(8章・9章)をふりかえって印象に残ったことを4コマ漫画で表現してみましょう。(P245) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表3

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--|----------|--|--|-------|
| 各時代の特色をとらえ、自分の言葉で表現できる(表現する)ように例示されている事項 | 近代の日本と世界 | <p>◇まとめの活動「日本と世界との結びつきを考えよう」について、ウェビングで事項の関連を整理し、近代(前半)の特色をまとめる。(P204～P205)</p> <p>◇基礎・基本のまとめ「近代(後半)の学習をふり返ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> この章で学習した語句について、自分の言葉で説明しましょう。 年表について、次の問いに答えましょう。 <p>(1)矢印で結ばれている「ロシア革命」と「シベリア出兵」、「米騒動」の関連を説明しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料について、次の問いに答えましょう。 <p>(2)なぜソ連だけ鉱工業生産がのびているのか、説明しましょう。(P246)</p> <p>◇節ごとの探究のステップ</p> <p>(1)第一次世界大戦はなぜ起こり、世界と日本にどのような影響をあたえたのでしょうか。</p> <p>(2)なぜ日本で民主主義の風潮が高まったのでしょうか。</p> <p>(3)経済情勢が変化する中、日本はどのようにして日中戦争に突入したのでしょうか。</p> <p>(4)第二次世界大戦はなぜ起こり、世界と日本にどのような影響をあたえたのでしょうか。</p> <p>◇章ごとの探究課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本はどのようにして戦争に突入していったのでしょうか。(P247) | <ul style="list-style-type: none"> 「日露戦争」「第一次世界大戦」「第二次世界大戦」について、それぞれの「参戦国」、「主な戦場」、絵や写真から読み取れる「戦いの様子」を書こう。 まとめた内容をもとに、「大戦期」がどのような時代だったかを表現し、その理由を説明しよう。 | |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|---|--------|---------|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> 産業革命の結果、どのような問題点が生じたかを具体的に説明してみよう。(P210～P211) 第一次世界大戦と第二次世界大戦について、比較が可能な論点を自ら考えて、表に追加してみよう。 国際連盟が第二次世界大戦を抑止できなかったこともあり、国際連合にはその反省から新たな仕組みが取り入れられた。二つの国際協調機構を比較してみよう。さらに、比較が可能な論点を自ら考えて、表に追加してみよう。 国際連盟の加盟国はヨーロッパの国々が多く、アジアやアフリカの加盟国は少ない。この理由は何だろうか。 第一次世界大戦後社会的に弱い立場に置かれていた人々が、現状の改善や新しい権利を求めた。例に従ってまとめてみよう。(P252～P253) | | | |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表3

| 調査項目 | | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--|----------|--|---|---|
| 各時代の特色をとらえ、自分の言葉で表現できる(表現する)ように例示されている事項 | 近代の日本と世界 | ◇まとめの活動「戦争へのターニングポイントは何だろう」について、ステップチャートで出来事を整理し、近代(後半)の特色をまとめる。(P248～P249) | | |
| | 現代の日本と世界 | ◇基礎・基本のまとめ「現代の学習をふり返ろう」 ・この章で学習した語句について、自分の言葉で説明しましょう。 ・年表について、次の問いに答えましょう。 (1)「朝鮮戦争」と「特需景気」とを結ぶ矢印の意味を説明しましょう。 (2)「第四次中東戦争」と「石油危機」とを結ぶ矢印の意味を説明しましょう。また、「石油危機」が日本にどのような影響をあたえたか説明しましょう。(P278) ◇節ごとの探究のステップ (1)戦後の諸改革は、日本の政治や社会にどのような影響をあたえたのでしょうか。 (2)冷戦の中で、なぜ日本は経済成長を遂げることができたのでしょうか。(3)より良い社会を創るために、これからどのようなことが必要とされるのでしょうか。 ◇章ごとの探究課題「戦後の日本はどのように発展してきたのでしょうか。」(P279) ◇まとめの活動「現在の日本を形作ったものは何だろう」についてピラミッドランキングやダイヤモンドランキングを用いて整理し、現代の特色をまとめる。(P280～P281) | ◇各見開きの「表現！」で、学習内容と関連した事項を「説明しよう」という課題を提示し、時代の特色を自分の言葉で表現するようにしている。 ◇学習のまとめと表現 ・戦後の日本の変化について説明しよう。 ・大日本帝国憲法下と日本国憲法下の政治のしくみにどのような違いがあるか、表にまとめて説明してみよう。(P287) ・日本が戦後に国際的地位を向上させるうえで、一番大きかったと思うできごとやことがらについて、自分の考えを説明しよう。 ・学習をふり返り、現代がどのような時代かを表現し、その理由を説明しよう。(P288) | ◇各見開きの「説明しよう」で、学習内容と関連した事項を自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇各節の最終ページに、節の問いを振り返り、説明する課題を提示している。 ◇「章の学習を振り返ろう」 ・章の問いの答えを理由とともに説明しよう。 ・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに説明しよう。(P285) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|---|---|---|---|
| ◇章のまとめ ・平和でだれもが暮らしやすい社会(世界)をつくっていくために、今までの歴史学習を通して、解決すべき問題点としてあなたは何かを取り上げますか。またその具体的な解決策についても、自分なりに考えてみよう。(P283) | ◇各見開きの「確認」「深めよう」で、学習内容と関連した事項を、自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇とらえよう！「現代の日本と世界」の特色 ・戦後の「復興と成長の源」には何があったのでしょうか。 ・敗戦から現在までに、どのような問題があり、そして克服してきたのでしょうか。 ・現代の特色を説明しましょう。(P297) | ◇学習のまとめ「現代の時代をふり返って考えてみよう」。 ・A・Bのグラフを見ながら、①現代までの日本はどんな社会だったのか、②これからの日本はどんな社会になり何が問題になるのか、この2つの問題について考えてノートにまとめ、みんなで話し合ってみましょう。 ・この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみましょう。(P289) | ◇第6部現代(10章をふりかえる)学習のまとめ ・学習をふりかえり、時代の変化を絵に表してみよう。 ・第6部の学習をふりかえり、国際社会での課題となっていることをあげ、日本ができることを考えて文章にまとめましょう。グループやクラスで話し合ってみよう。(P280) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表3

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--------------------|---|--|---|
| 新聞を活用している事項の数とその内容 | <p>歴史新聞:2 箇所 ◇歴史新聞にまとめよう ◇身近な地域の歴史をまとめる方法の一つとして紹介。(P17) ◇地域の歴史を調べた内容を郷土新聞の形にわかりやすくまとめる。(P93) 新聞記事:6 箇所 ◇横浜毎日新聞の創刊号(P199) ◇張作霖の殺害を伝える新聞(P227) ◇国際連盟脱退を伝える新聞(P228) ◇五・一五事件を伝える新聞(P229) ◇真珠湾攻撃を伝えるハワイの新聞(P234) ◇ミッドウェー海戦を伝える新聞(P235)</p> | <p>歴史新聞:1 箇所 ◇原始・古代の単元をまとめる学習の中で、まとめたことを歴史新聞で表現する方法について提示している。 新聞記事:9 箇所 ◇日英同盟の風刺画(P191) ◇米騒動を伝える新聞(P221) ◇張作霖の列車の爆破事件を伝える新聞(P231) ◇五・一五事件を伝える新聞(P233) ◇国際連盟総会での韓国の可決を伝える新聞(P233) ◇二・二六事件を伝える新聞(P234) ◇日米の開戦を伝える新聞(P242) ◇ミッドウェー海戦を伝える新聞(P244) ◇民主党への政権交代を伝える新聞記事の写真を複数紹介(P280)</p> | <p>新聞記事:6 箇所 ◇「歴史の調べ方」で、仙台の姉妹都市アカプルコの交流を伝える新聞記事を紹介 ◇二十一か条の要求を中国が受諾したことを伝える新聞(P212) ◇国際連盟脱退を伝える新聞(P236) ◇五・一五事件を伝える新聞(P237) ◇日独伊三国同盟調印を伝える新聞(P244) ◇ミッドウェー海戦を伝える新聞(P249)</p> |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--|---|--|---|
| <p>新聞記事:5 箇所 ◇横浜毎日新聞が発刊された(P181) ◇米騒動を伝える新聞(P212) ◇太平洋戦争開戦を伝える新聞(P213) ◇米騒動を伝える新聞(P224) ◇五・一五事件を伝える新聞(P239) ◇太平洋戦争開戦時の新聞(P245)</p> | <p>歴史新聞:1 箇所 ◇地域調べをまとめる方法の一つとして、歴史新聞づくりを紹介している。 新聞記事:4 箇所 ◇国際連盟脱退を伝える新聞(P242) ◇五・一五事件を伝える新聞(P245) ◇日米海戦を伝える新聞記事(P248) ◇ミッドウェー海戦を伝える新聞(P254)</p> | <p>歴史新聞:1 箇所 ◇歴史学習のまとめ①として、歴史新聞の作り方を紹介している。 新聞記事:4 箇所 ◇日清戦争のようすを伝える新聞(P196) ◇五・一五事件を伝える新聞(P237) ◇日米開戦を伝える新聞(P242) ◇日本の国連加盟を伝える新聞(P265)</p> | <p>新聞記事:8 箇所 ◇歴史人物調べの一例として、山本宣治の刺殺を伝える新聞(P210) ◇昭和恐慌の時に徒歩で郷里へ帰る人々がいたことを伝える新聞(P217) ◇国際連盟総会からの退場を伝える新聞(P221) ◇五・一五事件を伝える新聞(P222) ◇サイパン島の玉砕を伝える新聞(P234) ◇第五福竜丸の被ばくを伝える新聞(P258) ◇中国残留日本人孤児の調査を伝える新聞(P270) ◇日本人孤児が母親と再会したことを伝える新聞(P270)</p> |

別表4

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|-------------------------|--|---|--|
| 教科書の使い方(学習の進め方)に関する記載 | <p>◇章と本文ページの構成や学び方を示し、マークやコラムの意味を説明している。(P4~P5)</p> | <p>◇章の構成や本文ページの見方・使い方を示し、マークやコラムの意味を説明している。(PII、PIV)</p> | <p>◇学習の流れや導入・本文ページの学習の仕方を示し、マークやコラムの意味を説明している。(巻頭P4~P5、P13)</p> |
| 自主学习、自由研究用に設定されている課題の内容 | <p>◇「歴史へのとびら」年表へのまとめ方や地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。(P8~P17) ◇「スキル・アップ」資料の集め方・読み取り方・整理の仕方・発表の仕方を提示している。(20 箇所) ◇「まとめの活動」思考ツールを用いたまとめ方を提示している。(6 箇所)</p> | <p>◇「歴史のとらえ方・調べ方」-人物のまとめ方や地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。(P2~16) ◇「歴史の技」資料の読み取り方・整理の仕方を提示している。(8 箇所)</p> | <p>◇「歴史のとらえ方と調べ方」歴史の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。(P2~P11) ◇「技能をみがく」資料の集め方・読み取り方・整理の仕方・発表の仕方を提示している。(12 箇所)</p> |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--|--|--|---|
| <p>◇マークの意味を説明している。(P4)</p> | <p>◇学習の流れや基本構成、使い方を示し、マークやコラムの意味を説明している。(P4~P5)</p> | <p>◇学習の流れや特集ページについての説明をしている。(P5)</p> | <p>◇全体と本文ページの構成を示している。(巻頭P2)</p> |
| <p>◇「身近な地域を調べよう」地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。(P8~P13) ◇「歴史を考えよう」資料の読み方、活用方法を提示している。(7 箇所)</p> | <p>◇「私たちと歴史」人物の調べ方・まとめ方を提示している。(P8~P10) ◇「スキルUP」資料の見方・まとめ方や施設の見学の仕方を提示している。(9 箇所) ◇「でかけよう!地域調べ」地域の調べ方・まとめ方を提示している。(6 箇所)</p> | <p>◇「序章」カードや年表へのまとめ方、地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。(P8~18) ◇「歴史新聞をつくらう」歴史新聞の作り方を提示している。(P290~P291)</p> | <p>◇「歴史への案内」カードや年表へのまとめ方を提示している。(P6~P9) ◇「歴史を体験する」調べ方やまとめ方を提示している。(全7 箇所の内、5 箇所)</p> |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表4

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--------------------------------|--|--|--|
| 自主学习、自由研究用に設定されている課題の内容 | ◇「地域の歴史を調べよう」 地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。(6箇所) | | |
| 資料の収集・活用・整理の仕方など調べ学習の方法についての記載 | ◇「歴史へのとびら」(P8～P17) ◇年表へのまとめ方 ◇地域の調べ方、まとめ方、発表の仕方 「スキル・アップ」20箇所 ◇資料の集め方、読み取り方、整理の仕方、発表の仕方 「まとめの活動」6箇所 ◇思考ツールを用いたまとめ方の提示 「地域の歴史を調べよう」6箇所 ◇地域の調べ方、まとめ方、発表の仕方 | ◇「歴史のとらえ方・調べ方」(P2～16) ◇人物のまとめ方 ◇地域の調べ方、まとめ方、発表の仕方 「歴史の技」8箇所 ◇資料の読み取り方、整理の仕方 「身近な地域の歴史を調べよう」6箇所 ◇地域調査の例 | ◇「歴史のとらえ方と調べ方」(P2～P11) ◇歴史の調べ方、まとめ方、発表の仕方 「技能をみがく」12箇所 ◇資料の集め方、読み取り方、整理の仕方、発表の仕方 |
| 体験的な学習活動の例、書き込み等作業的な内容 | ◇「基礎・基本のまとめ」各章末で年表、地図、文章での書き込み等作業的なまとめを示している。 | ◇「歴史の流れをとらえよう」(P2～P6) 歴史すごろく、人物カード作り等の作業を取り入れている。 ◇「学習のまとめと表現」各章末で年表、地図、表、文章でのまとめを提示している。 | ◇「年代の表し方と時代区分」(P2～P5) 年代の表し方の作業を取り入れている。 ◇「タイムトラベル」各時代の導入でイラストから読み取る作業を取り入れている。 ◇「章の学習を振り返ろう」 |
| 掲載されているコラムの内容 | 「歴史にアクセス」35箇所 ◇蝦夷の抵抗(P47) ◇藤原道長の直筆日記(P49) ◇貴族の娘(P50) ◇年中行事(P51) ◇武士の妻(P70) ◇地頭を訴えた農民たち(P71) | 「歴史の窓」19箇所 ◇奥州藤原氏と平泉(P63) ◇宋と高麗(P65) ◇地頭を訴える農民(P69) ◇一つになるユーラシア世界(P73) ◇オホーツク文化と擦文文化(P81) | 「未来に向けて」43箇所 環境 ◇自然を恐れ敬った古代の人々(P51) ◇鴨長明が見た自然災害(P67) ◇自然を生かした信玄堤(P87) ◇森林伐採と植林(P127) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|---|--|--|--|
| | | | |
| ◇「身近な地域を調べよう」(P8～P13) ◇地域の調べ方、まとめ方、発表の仕方 「地域からのアプローチ」7箇所 ◇地域の歴史の調べ方 「歴史を考えよう」7箇所 ◇資料の読み方、活用方法 | ◇「私たちと歴史」(P8～P10) ◇人物の調べ方とまとめ方 「スキルUP」9箇所 ◇資料の見方、まとめ方 ◇施設の見学の仕方 「でかけよう！地域調べ」6箇所 ◇地域の調べ方 | ◇「序章」(P8～18) ◇カードや年表へのまとめ方 ◇地域の調べ方、まとめ方、発表の仕方 「歴史新聞をつくろう」(P290～P291) ◇歴史新聞の作り方 | ◇「歴史への案内」(P6～P9) ◇カードや年表へのまとめ方 「歴史を体験する」全7箇所の内、5箇所 ◇調べ方やまとめ方 |
| ◇「歴史を大きく変えた人物」(P7) ◇人物についてまとめる作業を提示している。 ◇「まとめ」各章末で地図、表、文章でのまとめを提示している。 | ◇「歴史を大きく変えた人物はだれだろう？」(P8～P10) ◇人物についてまとめる作業を提示している。 ◇「学習の整理と活用」各時代の終わりに、年表、地図、文章等でのまとめを提示している。 ◇「チャレンジ歴史」5箇所-資料に基にした作業、話し合いや文章でのまとめを提示している。 | ◇「歴史探検！歴史の流れと先人の活躍」(P8～P11) ◇年表やカードを使った作業を提示している。 ◇「学習のまとめ」6箇所 ◇各章末(で年表、地図、表、文章でのまとめを提示している。 ◇「歴史のターニングポイント」資料に基づいた話し合い活動を提示している。 ◇「私の歴史博物館」をデザインしてみよう」資料を基にした表や文章へのまとめを提示している。 | 「歴史への案内」(P6～P9) ◇年表や年代の表し方の作業を取り入れている。 ◇「部の学習のまとめ」各章末で、話し合いや文章でのまとめを提示している。 ◇「章をふりかえる」第1章から第10章の各章末で年表や地図、文章等でのまとめを提示している。 ◇「歴史を体験する」 ・火おこし(P34～P35) ・糸をつむぐ(P158～P159) |
| 「コラム」31箇所 ◇最古の人類(P16) ◇古代文字の解説(P19) ◇三国志(P23) ◇稲作の始まり(P30) ◇日本の神話(P42) ◇蝦夷(P50) ◇神仏習合(P51) ◇『千夜一夜物語』(P79) | 「歴史+α」17箇所 ◇儒教(p23) ◇ソクラテスと民主政治(P25) ◇古墳と信仰(P33) ◇日本国号と天皇号(P43) ◇天皇や太政官の仕事(P45) | 「歴史ビュー」16箇所 ◇吉野ケ里遺跡(P35) ◇世界墓最大の・大仙古墳(P37) ◇天皇と皇帝(P47) ◇現代に続く和歌の伝統(P55) ◇かな文字の発達(P63) | 「フォーカス」90箇所 ◇首里城正殿が再現された(P5) ◇人類と火の使用(P13) ◇文字の発明(P15) ◇ピラミッド内部に道の巨大な空間(P17) ◇消えた死者の丘(P19) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表4

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 | 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|---------------|---|--|---|---|--|--|---|
| 掲載されているコラムの内容 | <p>◇堺の自治(P85) ◇河原者たちの優れた技術(P87) ◇朝鮮人陶工と日本の陶磁器文化(P111) ◇女性への教え(P117) ◇朝鮮通信使が訪れた対潮楼(P121) ◇江戸の防災(P130) ◇藩政改革(P133) ◇渋染一揆(P137) ◇ペリーの来航と台場(P163) ◇五榜の掲示(P168) ◇エルトゥールル号遭難事件(P187) ◇孫文と日本(P193) ◇社会主義の動向と大逆事件(P195) ◇足尾銅山鉍毒事件(P195) ◇全ての子どもに教育を(P197) ◇社会主義と共産主義(P211) ◇女性の政治参加を求めて(P213) ◇ガンディーの非暴力・不服従運動(P215) ◇関東大震災(P221) ◇満州移民(P229) ◇斎藤隆夫の「反軍演説」(P231) ◇「命のビザ」(P233) ◇ひめゆり学徒隊(P239) ◇在日韓国・朝鮮人(P253) ◇イスラエルの成立とパレスチナ問題(P257) ◇原水爆禁止運動(P259) ◇インターネットの発達(P265) ◇中国の経済発展(P267) ◇人権の発達とグローバル化(P271)</p> | <p>◇庭園づくりに活躍した人々(P87) ◇ほろぼされた中南アメリカの文明(P103) ◇野國總管と青木昆陽(P133) ◇ナポレオンの支配(P151) ◇ペリーの那覇・函館寄港(P161) ◇台湾の植民地化(P189) ◇産業の発展と豊田佐吉(P197) ◇財閥と日本の経済発展(P213) ◇日本人が見た三・一独立運動(P219) ◇関東大震災(P225) ◇歴史の中の在日韓国・朝鮮人(P257) ◇平和条約をめぐる(P263) ◇キューバ危機(P265) ◇ゴジラが見た日本社会(P273)</p> | <p>◇江戸のごみを利用した農業(P143) ◇工業の発達と生活環境の悪化(P153) ◇公害の登場 足尾鉍毒事件(P203) ◇ハーンと濱口梧陵の「稲むらの火」(P205) ◇大都市を襲った関東大震災(P227) ◇現代社会の見直しを迫った東日本大震災(P283)</p> <p>交流 ◇東アジアの美、磁器(P77) ◇日本と朝鮮をつないだ倭館(P117) ◇エルトゥールル号のきずな(P191) ◇日本と中国をつないだ人々(P197) ◇祖国の音楽を紹介したドイツ兵(P213) ◇朝鮮との架け橋となった日本人(P217) ◇人々を魅了した洋菓子文化(P226) ◇世界に広がる日本の文化(P278)</p> <p>人権 ◇中世の老人と子ども、女性(P83) ◇庭園造りで活躍した河原者(P91) ◇差別された人々(P125) ◇先住民の「涙の旅路」(P154) ◇奴隷制を告発した『アンクル・トムの小屋』(P155) ◇世界各地に広がる人権思想・民族意識(P159) ◇渋染一揆(P163) ◇差別からの解放運動(P171)</p> | <p>◇神国思想の高まり(P83) ◇徳政と徳政令(P83) ◇海に眠っていた貿易船(P87) ◇木綿栽培(P97) ◇砂糖(P108) ◇天正遣欧使節となった四人の少年(P113) ◇漆器の広がり(P129) ◇富士川の開削(P130) ◇蝦夷地の開発(P138) ◇尊号一件と老中辞任(P140) ◇米沢藩の藩政改革(P141) ◇園芸文化(P145) ◇自由の女神(P158) ◇プランテーションと自然破壊(P160) ◇産業革命と人々の暮らし(P161) ◇香港(P165) ◇新撰組(P169) ◇国家としてのイギリス(P175) ◇五日市憲法(P186) ◇万国博覧会(P191) ◇『蛍の光』(P197) ◇取付け(P225) ◇イスラエル(P274)</p> | <p>◇宋と高麗(P71) ◇地頭を訴えた農民(P77) ◇河原者がつくり出した文化(P99) ◇イスラムの文化(P112) ◇つながる世界と生活の変化(P115) ◇豊かになる人々と身分制のひきしめ(P147) ◇社会契約説(P165) ◇三・一独立運動を支持した日本人(P229) ◇関東大震災(P235) ◇日本の満州支配に反対したジャーナリスト(P243) ◇平和条約に調印しなかった国(P273) ◇核兵器廃絶と平和への願いー原水爆禁止運動ー(P275)</p> <p>「先人に学ぶ」10箇所 ◇東大寺の再興と重源(p79) ◇雨森芳洲(P131) ◇井上伝と久留米緋(P140) ◇天明のききんと復興(P149) ◇幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル(P154～P155) ◇近代社会に日本を見つめ直す(P189) ◇孫文と梅屋庄吉(P209) ◇エルトゥールル号遭難事件(P215) ◇「命のビザ」を発給した杉原千畝(P247) ◇私たちにできることー震災の教訓を未来に伝えるー(P291) 「地域に学ぶ」13箇所 ◇磐井の乱(P39) ◇海底から姿を現した元の軍船(P85)</p> | <p>◇源頼朝はなぜ鎌倉を選んだのか(P77) ◇世界文化遺産・石見银山(P93) ◇宣教師の見た日本(P113) ◇江戸時代の身分制度(P127) ◇百姓一揆の実態(P139) ◇江戸城無血開城(P177) ◇民間でもつくられた憲法草案(いつ開市憲法)(P191) ◇幻の人種平等案(P225) ◇東京裁判(P263) ◇核と世界(P273) ◇オリンピック・パラリンピックと万博のレガシー(P281)</p> <p>「人物クローズアップ」15箇所 ◇藤原道長の栄華(P61) ◇百人一首と藤原定家(P81) ◇支倉常長(P123) ◇上杉鷹山(P137) ◇農民自身による農村復興を指導した 二宮尊徳(P143) ◇全国を踏破した 伊能忠敬(P149) ◇吉田松陰と松下村塾(P173) ◇明治維新を支えた西郷隆盛と大久保利通(P185) ◇陸奥宗光(P195) ◇台湾にダムをつくった八田與一(P201) ◇足尾銅山鉍毒事件と田中正造(P203) ◇フェノロサと救世観音(P206) ◇正岡子規と夏目漱石(P207) ◇世界の平和に力をつくした新渡戸稲造(P229)</p> | <p>◇今も読まれる孔子の『論語』(P21) ◇十字架のイエス(P23) ◇赤土のがけからの発見(P25) ◇三内丸山の大規模なムラ(P27) ◇稲作のはじまりと広がり(P29) ◇「魏志倭人伝」が伝える倭人の生活と社会(P31) ◇大王の名をうめ込んだ鉄剣(P33) ◇逃亡する人々(山城国出雲郷の計帳 726年)(P43) ◇『常陸国風土記』に書かれた富士山と筑波山(P45) ◇アラビア数字とローマ数字(P47) ◇これが極楽浄土だ(P51) ◇火薬の発明(P57) ◇奥州藤原氏と中尊寺金色堂(P61) ◇大仏再建の熱狂(P65) ◇気候の変動と大ききん(P67) ◇元を攻撃したカラフト(サハリン)のアイヌ(P69) ◇働く子ども、売られる子ども(P71) ◇朝鮮の文字・ハンゲルがつくられる(P73) ◇油商人、国々を行く(P75) ◇朝鮮の使節が見た日本の農業(P77) ◇銀閣をつくった人びと(P79) ◇アイヌの人びとがになう北方の交易(P81) ◇戦国時代の子どもたち(P83) ◇ルネサンス(P89) ◇マゼラン船隊の世界一周(P91)</p> |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表4

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|---------------|-------|-------|---|
| 掲載されているコラムの内容 | | | <p>◇「自由は土佐の山間より」(P184)</p> <p>◇日本での選挙の始まり(P187)</p> <p>◇差別された人々を描いた文学(P206)</p> <p>◇人種差別撤廃への道(P215)</p> <p>◇社会にはばたく女性たち(P215)</p> <p>◇全国水平社の結成(P223)</p> <p>◇在日韓国・朝鮮人(P265)</p> <p>◇男女共同参画社会へ(P273)</p> <p>◇日本における先住民族(P281)</p> <p>平和</p> <p>◇芸術に込めた反戦の意志(P235)</p> <p>◇ドイツのユダヤ人迫害に抵抗した日本人(P245)</p> <p>◇子どもの文化の変化(P247)</p> <p>◇語り継がれる沖縄戦(P251)</p> <p>◇旧日本兵の解放(P258)</p> <p>◇核兵器の開発競争と日本(P263)</p> <p>◇現在に残る沖縄の基地問題(P269)</p> <p>◇言論の自由の回復と戦争へのまなざし(P275)</p> <p>「歴史プラス」48 箇所</p> <p>◇地域によって変わる時代区分(P4)</p> <p>◇法に従って毒を飲んだソクラテス(P20)</p> <p>◇奴隷制の上に成り立った市民生活(P21)</p> <p>◇「魏志」倭人伝から見る邪馬台国(P29)</p> <p>◇弥生時代の墓(P32)</p> |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|-------|---|---|--|
| | <p>◇久米村でつくられた外交文書(P92)</p> <p>◇茶の湯を支える茶釜の生産地(P100)</p> <p>◇活版印刷の始まり(P120)</p> <p>◇ヨーロッパに知られた石見銀山(P121)</p> <p>◇国立アイヌ民族博物館(P132)</p> <p>◇江戸の飲料水を支えた玉川上水(P141)</p> <p>◇致道博物館(P144)</p> <p>◇山本作兵衛の炭坑記録画(P211)</p> <p>◇近代化産業遺産を訪ねる(P237)</p> <p>◇平和な島を-沖縄の基地問題-(P276)</p> <p>◇在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン(P277)</p> <p>「女性史コラム」8 箇所</p> <p>◇古代の女性「政治や文化での活躍」(P56)</p> <p>◇中世の女性「武家の社会と女性たち」(P77)</p> <p>◇中世の女性「商工業を担う女性たち」(P95)</p> <p>◇近世の女性「家制度と江戸時代の女性たち」(P135)</p> <p>◇近代の女性「家制度と社会運動」(P213)</p> <p>◇近代の女性「女性の政治参加を求めて」(P233)</p> <p>◇現代の女性「女性の地位向上への改革」(P266)</p> <p>◇現代の女性「男女共同参画社会の実現へ」(P283)</p> | <p>◇杉原千畝と樋口季一郎(P241)</p> <p>「なでしこ日本史」5 箇所</p> <p>◇推古天皇、光明皇后、紫式部(P68)</p> <p>◇静御前、北条政子、日野富子(P102)</p> <p>◇高台院、春日局、加賀千代(P154)</p> <p>◇広岡浅子、津田梅子、樋口一葉(P214)</p> <p>◇クーデンホーフ光子、平塚らいてう、与謝野晶子(P256)</p> | <p>◇ザビエルとアンジロー(P93)</p> <p>◇将軍義昭を非難する信長(P95)</p> <p>◇島津氏の奄美群島と琉球王国への侵攻(P97)</p> <p>◇朝鮮の武将となった沙也可(P99)</p> <p>◇大名行列の江戸への道のり(P101)</p> <p>◇新田開発と新しい農具(P111)</p> <p>◇琉球王国の使節(P117)</p> <p>◇藩の財政の立て直し(P119)</p> <p>◇百姓一揆のなかから生まれた思想(P123)</p> <p>◇国学を大成させた本居宣長(P125)</p> <p>◇北方の探検(P129)</p> <p>◇「奴隷制度は憲法違反」と訴えた黒人女性(P139)</p> <p>◇ハイチ革命(P141)</p> <p>◇エンゲルスが見た労働者の住宅(P143)</p> <p>◇フランス語が話せないフランス人(P145)</p> <p>◇アヘン戦争と江戸幕府・琉球王国(P147)</p> <p>◇インド大反乱のなかの女性(P149)</p> <p>◇長州藩の軍隊(P155)</p> <p>◇戊辰戦争の最前線で(P157)</p> <p>◇職を失った武士(P163)</p> <p>◇6 歳の女子留学生(P167)</p> <p>◇竹槍で突き出す(P169)</p> <p>◇士族の反乱と西南戦争(P171)</p> <p>◇秩父事件(P173)</p> <p>◇教育勅語と「御真影」(P175)</p> <p>◇増える日本人(P193)</p> <p>◇足尾銅山の鉍毒被害と田中正造(P195)</p> |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表4

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|---------------|-------|-------|---|
| 掲載されているコラムの内容 | | | <ul style="list-style-type: none"> ◇キトラ古墳に見る中国の思想(P33) ◇古代のタイムカプセル、正倉院(P45) ◇衣服の変遷(P46) ◇『古事記』と『日本書紀』が伝える神話(P47) ◇奥州藤原氏の栄華(P61) ◇博多から広がった文化(P73) ◇結桶から見る技術の発達 ◇生活を変えた木綿(P91) ◇城の工夫と技術(P108) ◇朝鮮半島から伝わった文化(P111) ◇女性と学問(P125) ◇木綿から広がる諸産業(P127) ◇江戸時代の貨幣と改鋳(P129) ◇富山藩と薩摩藩を結び付けた富山の葉売り(P131) ◇中華料理を支えた日本の海産物(P131) ◇一大ブームとなった和算(P133) ◇幕府と朝廷の関係のゆらぎ(P137) ◇庶民の娯楽として根付いた大相撲(P138) ◇世界に驚きを与えた浮世絵(P140) ◇地中に張りめぐらされた水道(P142) ◇世界探検の時代の始まり(P159) ◇幕府の「近代化」への対応(P166) ◇「御一新」と天皇(P171) ◇離島の領土画定と国際法(P180) ◇札幌の近代化(P183) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|-------|--------|---------|--|
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ◇アジア・アフリカと第一次世界大戦(P197) ◇辛亥革命後の変化(P199) ◇ガンジーの非暴力主義(P203) ◇少女たちの労働争議(P205) ◇関東大震災(P207) ◇家族や社会から引き離されたハンセン病患者(P209) ◇『モダン・タイムス』と『独裁者』(P215) ◇欠食児童と学校給食(P217) ◇ピカソが描いたゲルニカ爆撃(P219) ◇日本の満州開拓と中国人農民(P221) ◇消えた東京オリンピック(P223) ◇地下道を掘って戦う(P225) ◇ヒトラーに抵抗した若者たち(P227) ◇朝鮮・台湾の人びとと日本の戦争(P229) ◇いったいどうして人間は(『アンネの日記』1944年5月3日)(P231) ◇こういうことを言うと警察に捕まった(P233) ◇特攻機で沖縄に出撃した少年非行兵(P235) ◇中学生・女学生は工場へ(P237) ◇沖縄戦(P239) ◇アメリカが原爆を投下した理由(P241) ◇連合国の動きと国際連合の設立(P243) ◇日本国憲法と旧植民地の人びと(P251) ◇盲目の戦争孤児(P253) ◇日本と朝鮮戦争(P255) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表4

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|---------------|-------|-------|--|
| 掲載されているコラムの内容 | | | <ul style="list-style-type: none"> ◇藩閥政府と自由民権運動(P185) ◇台湾の植民地化と「近代化」(P193) ◇生糸で財をなした横浜商人(P200) ◇「衛生」の登場(P207) ◇国旗と国歌(P207) ◇子ども向けの文化・商品の誕生(P225) ◇労働者の視点で描かれた文学(P225) ◇「東洋のマンチェスター」大阪と神戸港(P228) ◇蚕糸王国 長野(P240) ◇日本初の満蒙開拓分村移民へ(P241) ◇沖縄戦と女学生(P250) ◇シベリアでの抑留生活(P259) ◇植民地の独立(P259) ◇教育基本法と教育の民主化(P261) ◇第三次世界大戦の危機(P268) ◇石炭から石油への大転換(P271) ◇コンビニエンスストアの登場(p276) ◇EU 統合の目指したもの(P279) 「地域史」18 箇所 ◇上野三碑に見る渡来人の影響(P31) ◇大きな古墳が集まる群馬県(P33) ◇蝦夷と東北の支配(P51) ◇大仏殿を失った「鎌倉大仏」(P68) ◇北と南を襲ったもう二つの蒙古襲来(P71) ◇北海道の独自の文化(P79) ◇各地に広がった文化(P90) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|-------|--------|---------|--|
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ◇インドネシアの独立(P257) ◇微力だけど無力じゃない(P259) ◇憲法を暮らしに生かす(P261) ◇忘れなかったマルタの歌声(P265) ◇私の土地は基地の中にある(P267) ◇問い直される人権の侵害(P271) ◇拡大する自衛隊の活動(P273) ◇世界の原発(P275) ◇あなたの夢は(P277) フォーカス 37 箇所 ◇中国の歴史書に書かれた卑弥呼(P31) ◇博多に住みついた中国商人たち(P56) ◇神輿の強訴と神の怒り(P58) ◇内乱の中の民衆(P62) ◇帯と扇のネットワーク(P74) ◇盆おどりの誕生(P78) ◇マラッカに行く琉球船(P80) ◇石見銀山の開発(P82) ◇祇園祭をささえた町衆(P94) ◇にぎわう港町フェフォ(P102) ◇家族総出の「米こしらえ」(P108) ◇全財産の没収(P112) ◇長崎に荷揚げされた砂糖(P118) ◇日本橋の表通りと裏長屋(P120) ◇寺子屋の風景(P126) ◇ラクスマンと大黒屋光太夫(P128) ◇運命をきりひらいたジョン万次郎(P130) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表4

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|---------------|-------|-------|---|
| 掲載されているコラムの内容 | | | <p>◇鉄砲作りを支えた堺と国友(P100)</p> <p>◇世界の銀を支えた石見銀山(P101)</p> <p>◇鳥取県の参勤交代(P113)</p> <p>◇日光東照宮と街道の発達(P128)</p> <p>◇財政改革に成功した米沢藩(P136)</p> <p>◇那覇と函館のペリー来航(P164)</p> <p>◇士族の救済事業となった安積開拓(P173)</p> <p>◇多摩地方の自由民権運動(P185)</p> <p>◇近代化を支えた石炭と八幡製鉄所(P199)</p> <p>◇人口日本一だった新潟県(P199)</p> <p>◇小笠原諸島の返還(P267)</p> <p>「人物コラム」49箇所</p> <p>◇孔子(P18)</p> <p>◇シャカ(P22)</p> <p>◇イエス(P23)</p> <p>◇ムハンマド(P23)</p> <p>◇鑑真(P46)</p> <p>◇菅原道真(P51)</p> <p>◇最澄(P54)</p> <p>◇空海(P54)</p> <p>◇平将門(P61)</p> <p>◇源義経(P63)</p> <p>◇足利義満(P77)</p> <p>◇雪舟(P90)</p> <p>◇千利休(P109)</p> <p>◇山田長政(P114)</p> <p>◇天草四郎(P115)</p> <p>◇徳川綱吉(P125)</p> <p>◇高田屋嘉兵衛(P130)</p> <p>◇松尾芭蕉(P133)</p> <p>◇ワシントン(P149)</p> <p>◇ナポレオン(P151)</p> <p>◇マルクス(P153)</p> <p>◇ビスマルク(P155)</p> <p>◇高杉晋作(P161)</p> |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|-------|--------|---------|---|
| | | | <p>◇蒸気と綿ぼりの中で</p> <p>◇郷学校から公立小学校へ(P164)</p> <p>◇富岡製糸場から村の工場へ(P168)</p> <p>◇演説会が開かれた(P170)</p> <p>◇東京に出て日本語を学んだアイヌの人たち(P176)</p> <p>◇ニジュール川でパーム油を争う(P186)</p> <p>◇戦火に追われる人々(P188)</p> <p>◇歌を通して教える(P190)</p> <p>◇吹雪の峠を越えて(P194)</p> <p>◇声を上げる学生たち(P198)</p> <p>◇パンを求めて(P200)</p> <p>◇普選だ！ 普選だ！(P208)</p> <p>◇昭南島と改名されたシンガポール(P228)</p> <p>◇赤紙が来た村(P232)</p> <p>◇インディアラがやってきた(P256)</p> <p>◇「民主主義を守れ」「戦争反対」の声(P260)</p> <p>◇東京オリンピック(P264)</p> <p>◇あい次ぐ米軍機の事故(P266)</p> <p>◇私はだれなのですか(P270)</p> <p>◇子どもたちは見えていた(P272)</p> |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表4

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|---------------|-------|-------|---|
| 掲載されているコラムの内容 | | | ◇大塩平八郎(P163) ◇大浦慶(P165) ◇吉田松陰(P165) ◇福沢諭吉(P174) ◇江藤新平(P175) ◇西郷隆盛(P179) ◇大久保利通(P179) ◇松浦武四郎(P181) ◇島義勇(P182) ◇伊藤博文(P187) ◇渋沢栄一(P201) ◇正岡子規(P205) ◇ウィルソン(P214) ◇ガンディー(P217) ◇原敬(P221) ◇与謝野晶子(P231) ◇平塚らいてう(p231) ◇山川菊栄(P231) ◇宮沢賢治(P233) ◇山口淑子(P236) ◇蒋介石(P238) ◇毛沢東(P238) ◇斎藤隆夫(P244) ◇吉田茂(P264) ◇湯川秀樹(P275) ◇手塚治虫(P277) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|-------|--------|---------|---------|
| | | | |

別表5

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|---------------------|---|-------|-------|
| 「発展」などの記載のあるページの内容 | 別表3の多面的・多角的に考察するための工夫や思考とコラムの活用箇所と重なる。 | | |
| 京都府の歴史的事象に関する発展的な内容 | 「歴史から発見！」 ◇屏風絵から中世の人びとの生活をとらえよう(P88,89) 「もつと歴史」 ◇「解放令」から水平社へ(P241) | 無 | 無 |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--|--|---------------------------|--|
| 別表3の多面的・多角的に考察するための工夫や思考とコラムの活用箇所と重なる。 | | | |
| ◇歴史を考えよう「平安京と京都の町を考える」(P56～P57) | ◇16世紀前半の京都を読み取ろう(P108) コラムでの記述 ◇中世の女性「商工業を担う女性たち」(P95) ◇河原者がつくり出した文化(P99) ◇先人に学ぶ「幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル」(P154) | ◇縄文時代の丸木舟の写真(京都府舞鶴市)(P19) | 歴史を体験する ◇インターネットで『洛中洛外図屏風』を見る(P104～P105) ◇山本宣治の人物調べ(P210～P211) コラムでの記述 ◇逃亡する人びと(山背国出雲郷の計帳 726年)(P43) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表5

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|-----------------------------|-------|-------|-------|
| 京都府の歴史的 事象に関する発 展的な内容 | | | |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|-------|--------|---------|--|
| | | | ◇これが極楽浄土だ-平等 院鳳凰堂(P51) ◇帯と扇のネットワーク (P74) ◇油商人、国々を行く (P75) ◇盆おどりの誕生(P78) ◇銀閣をつくった人々 (P79) ◇祇園祭をささえた町衆 (P94) ◇盲目の戦争孤児(P253) |

別表6

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--|--|---|--|
| 地理的分野と特に 関連づけた記載 のある内容 | ◇章及び節に地図を配置 し、地政学的に考察しや すくなっている。 | ◇章に地図を配置し、地 政学的に考察しやすくな っている。 | ◇章及び節単位に地図を 配置し、地政学的に考察 しやすくなっている。 |
| 公民的分野と特に 関連づけた記載 のある内容 | ◇歴史学習の終わりに SDGsを取り上げている。 | ◇歴史学習の終わりに「未 来をひらくために」として現 代の課題を取り上げている。 | ◇節を中心に多角的に考 察し、現代社会との関連性 を持たせるなど工夫してい る。 |
| 特別の教科 道徳 と関連のある内容 | ◇渡良瀬川の鉈毒 ◇六千人の命のピザ ◇第五福竜丸事件 ◇田老の生徒が伝えたも の | 無 | 無 |
| 人権教育と関連の ある内容、男女共 同参画社会の追 究に対する配慮 | ◇人々の身分と負担(P42) ◇河原者たちの優れた技 術(P87)◇ヨーロッパ世界 の拡大(P104)◇さまざまな 身分と暮らし(P116)◇琉球 王国やアイヌ民族との関 係(P122)◇農村の変化と 百姓一揆(P131)◇汚染一 揆(P137)◇アメリカの独立 (P151)◇フランス革命 (P152)◇国民の登場 (P154)◇南北戦争(P157) ◇産業革命と資本主義 (P158)◇身分制度の廃止 (P169)◇新しい思想(P173) ◇北海道の開拓とアイヌの 人々(P178)◇自由民権 運動の高まり(P182) | ◇貧富の差と身分の区分 の発生(P33)◇律令制での 良民と賤民(P44)◇蝦夷地 とアイヌ民族(P80)◇庭園 づくりに活躍した人々(P87) ◇中世の女性や子どもの 地位(P88)◇シャクシャイン の蜂起(P123)◇身分によ る差別(P125)◇百姓一揆 と打ちこわし(P133)◇フラン スの人権宣言(P151)◇ヨー ロッパでの参政権の拡 大(P153)◇国民の権利と 女性(P159)◇三閉伊一揆 と汚染一揆(P167)◇身分 制の廃止と残された差別 (P169)◇国境の画定と北 海道・沖縄(P176) | ◇農民の暮らし(P41)◇北 山文化と東山文化(P89)◇ 奴隷船の内部(P98)◇秀吉 の国内政策(P106)◇朝鮮 への窓口(P117)◇身分制 と武士(P124)◇百姓一揆と 打ちこわし(P136)◇フラン ス革命(P150)◇資本主義 の成立(P152)◇アンクル・ トムの小屋(P155)◇インド 大反乱(P158)◇汚染一揆 (P163)◇大浦慶(P165)◇ 差別からの解放運動 (P171)◇福沢諭吉(P174) ◇北海道の開拓(P181)◇ 自由と民権を求めて(P184) ◇女性と政治(P187) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|---|--|--|---|
| ◇章に地図を配置し、地 政学的に考察しやすくな っている。 | ◇章に地図を配置し、地 政学的に考察しやすくな っている。 | 無 | 無 |
| ◇歴史学習の終わりに「こ れからの日本」として現代 の課題を取り上げている。 | ◇歴史学習の終わりに「課 題例」や学習の整理と活 用」ページがあり、現代の 課題に結び付ける工夫が ある。 | ◇歴史学習の終わりに「学 習のまとめ」ページがあり、 現代の課題に結び付ける 工夫がある。 | ◇歴史学習の終わりに、 現代の課題に結び付ける 工夫がある。 |
| 無 | 無 | 無 | 無 |
| ◇人々の暮らしと負担 (P40)◇先住民の制服と虐 殺(P107)◇身分と社会 (P122)◇フランス革命とナ ポレオン(P158)◇産業革 命(P160)◇農奴解放とロシ アの東方開発(P163)◇身 分制度の廃止(P173)◇宗 教・思想の変化(P180)◇ 北海道開拓とアイヌ民族 (P183)◇女子留学生の派 遣(P185)◇自由民権運動 の高まり(P186)◇福沢諭吉 の脱亜論(P193)◇日本の 植民地(P200)◇労働者と 社会問題(P206)◇社会運 動の高まり(P226)◇都市化 と生活の洋風化(P230) | ◇奴婢身分の消滅(P54) ◇古代の女性(P56)◇中 世の女性-商工業を担う女 性たち-(P95)◇河原者が つくり出した文化(P99)◇ 江戸時代の身分制(P134) ◇豊かになる人々と身分 制のひきしめ(P147)◇プ ランテーション労働運動の 始まり(P162)◇アメリカの 奴隷解放宣言 P168◇汚 染一揆(P178)◇身分制の 廃止と市民平等(P181)◇ 沖縄・アイヌの人々(P192) ◇立憲制国家の成立 (P194)◇日本の近代化と 社会運動の発展(P211)◇ 近代の女性(P213) | ◇奴隷船の内部(P109)◇ 太閤検地と刀狩り(P116)◇ 身分制度の確立(P126)◇ フランス革命(P165)◇資本 主義と労働・社会問題 (P167)◇身分制度の廃止 (P178)◇急速な西欧化の 波(P187)◇自由民権運動 のおこり(P190)◇足尾銅山 鉈毒事件と田中正造 (P203)◇教育の普及 (P207)◇アンネフランク (P240)◇なでしこ日本史 (P256) | ◇働く子ども、売られる子 ども(P71)◇銀閣をつくった 人々(P79)◇奴隷い船 P86 ◇大西洋をこえて運ばれ た黒人奴隷(P91)◇身分 による社会(P109)◇村ぐる み、上りを立てて(P122)◇ 「奴隷制度は憲法違反」と 訴えた黒人女性(P139)◇ 国民の権利、女性の権 利、黒人の権利(P140)◇ 労働は1日 10 時間(P143) ◇古い身分の廃止と新し い身分(P163)◇6歳の女 子留学生(P167)◇演説会 が開かれた(P170)◇足尾 銅山の鉈毒被害と田中正 造(P195) |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表6

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--------------------------------|---|---|--|
| 人権教育と関連のある内容、男女共同参画社会の追究に対する配慮 | ◇日露戦争/与謝野晶子(P190)◇日露戦争とマツヤマ◇韓国併合を歌った二つの短歌(P192)◇社会問題の発生(P195)◇足尾銅山鉱毒事件(P195)◇民主主義の拡大(P213)◇ガンディー(P215)◇差別からの解放を求めて(P218/P240)◇女性による運動(P219)◇命のピザ(P233)◇アンネの日記(P233)◇オリンピック・パラリンピック(P242)◇民主化(P254)◇北海道とアイヌ民族の歴史◇男女共学(P255)◇相次ぐ地域紛争(P267)◇原水爆禁止運動(P259)◇国民生活の変化と公害(P262)◇持続可能な社会に向けて(P270) | ◇自由民権運動と政党の誕生(P178)◇足尾鉱毒事件(P199)◇アジアの民族運動(P218)◇民本主義(P220)◇米騒動(P221)◇女性解放運動、水平社運動(P222)◇杉原千畔のピザ発行(P239)◇民主化政策の始まり(P256)◇原水爆禁止運動(P263)◇公害の発生(P271)◇現代の公害問題とその克服◇SDGs | ◇日露戦争をめぐるさまざまな意見(P195)◇塗り替えられたアジアの地図(P196)◇社会問題の発生(P203)◇差別撤廃への道(P215)◇社会に羽ばたく女性たち(P215)◇インドの民族運動(P216)◇女性による社会運動(P222)◇全国水平社の結成(P223)◇都市と大衆の登場(P225)◇女性活動家のプロフィール(P231)◇日本の不景気(P232)◇新憲法の制定(P260)◇男女共同参画社会へ(P273)◇日本における先住民族(P28) |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|-----------------|---|---------|--|
| ◇新憲法による変化(P258) | ◇大正デモクラシーの時代(P230)◇女性の政治参加を求めて(P233)◇民主化の進展(P266)◇生活や権利を守る動く(P268)◇在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン(P277)◇男女共同参画社会の実現へ(P283)◇政治参加の歴史に学ぶ(P302) | | ◇少女たちの労働争議(P205)◇女性は太陽だった(P206)◇水晶の夜(P219)◇ヒトラーに抵抗した若者たち(P227)◇戦争と二人の少女(P230)◇新しい教育が始まる(P253)◇死の灰をあびた第5福竜丸(P258)◇問い直される人権侵害(P271)◇おとなたちへ(P273) |

別表7

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|--------------------------------|---|--|--|
| ユニバーサルデザインに向けた工夫 | ◇AB判を採用している。◇カラーバリアフリーに配慮している。また、ですます体を用い、ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。◇重要事項のふりがなはゴシック体にし、前回選定時より75%拡大表記している。 | ◇AB判を採用している。◇ユニバーサルデザイン・フォントを使用し、1行の文字数を少なく表記している。◇見開きごとにふりがな表記がされている。 | ◇AB判を採用している。◇カラーバリアフリーに配慮し、ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。◇一つ一つの写真や絵図が大きい。 |
| 資料(写真、統計やグラフ)の掲載方法等の配慮事項 | ◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記している。 | ◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記している。 | ◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記し、資料によっては、解説を加えている。 |
| 史料(法令、文献、絵図、絵、肖像画等)の掲載方法等の配慮事項 | ◇資料を見開きで掲載した「資料から発見」では、対話的な活動を通して歴史への関心を高めさせる工夫がある。 | ◇視力や色覚に関して、個々の特性に留意し、カラーユニバーサルデザインに基づく紙面の工夫がされている。 | ◇資料として、「人物コラム」を多数(49名)配置し、歴史により親しみがもてる工夫がされている。 |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|---|---|---|--|
| ◇B判を採用している。◇カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを採用している。◇固有名詞・歴史用語にはすべて、ふりがな表記している。 | ◇AB判を採用している。◇カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを採用している。◇ふりがなは、大きめのゴシック体で表記している。 | ◇AB判を採用している。◇カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを採用している。◇ふりがなは、ゴシック体で表記している。 | ◇AB判を採用している。◇カラーユニバーサルデザインを採用している。◇ふりがなは、学年に応じた表現・表記をしている。 |
| ◇資料には、ポイントを抑える発問やイラストが用いられている。 | ◇資料には、読み取りから導きだされた、単元の学習の「めあて」が示されている。 | ◇資料には、ポイントを抑える発問やイラストが用いられている。 | ◇資料には、簡潔な説明のみ記載されている。 |
| ◇視力や色覚に関して、個々の特性に留意し、カラーユニバーサルデザインに基づく紙面の工夫がされている。 | ◇資料ごとに前後の時代が比較できるように小年表を配置するなど工夫がされている。 | ◇章単位で、歴史絵巻が配置され、歴史の流れを大観できるような工夫がされている。 | ◇資料は、見開きの上部と左右の端に配置され見やすく工夫がされている。 |

社会(歴史的分野) 調査研究事項

別表7

| 調査項目 | 02 東書 | 17 教出 | 46 帝国 |
|----------------------------|---|--|---|
| 注記の内容 | ◇巻末に、五十音順に用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説している。 | ◇巻末に、五十音順に用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説している。 | ◇巻末に、五十音順に用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説している。 |
| 索引(歴史上の出来事や重要語句、人物等)の取扱い事項 | ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。 | ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。 | ◇五十音順に「ひらがな」「カタカナ」併記掲載し、関連ページ数を明記している。 |
| 用語解説の数と掲載方法等の配慮事項 | ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。 | ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。 | ◇五十音順に「ひらがな」「カタカナ」併記掲載し、関連ページ数を明記している。 |
| 綴じ込み歴史年表の有無と配慮事項 | ◇巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇広げた表と裏の2面にまとめられている ◇日本と外国との関係を示す出来事に■印をつけて示している。 ◇教科書で学習する章を年表中に明記している。 | ◇巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇左右に広げて全時代を見通すことができるようにまとめている。 ◇日本と外国との関係を上下に分けて示している。 | ◇巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇広げた表と裏の2面にまとめられている。 ◇日本と海外の交流の視点を明記している。 |

| 81 山川 | 116 日文 | 227 育鵬社 | 229 学び舎 |
|--|--|---|--|
| ◇巻末に、五十音順に用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説している。 | ◇巻末に、五十音順に用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説している。 | ◇巻末に、五十音順に用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説している。 | ◇巻末に、五十音順に人名と用語が混在してまとめられている。 |
| ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。 | ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。 | ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。 | ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。 |
| ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。 | ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記され、重要索引ページは朱書きされている。 | ◇関連ページだけでなく、重要語句は太字で表記されている。 | ◇五十音順に掲載し、関連ページ数を明記している。 |
| ◇章ごとに年表が示されている。 ◇年表は、日本と世界の出来事が簡潔にまとめられている。 | ◇巻末に4面にわたり、広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇年表内には、時代の特徴を示す写真や絵図が示されている。 | ◇巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇広げた表と裏の2面にまとめられている。 ◇大陸との関係を示す項立てがされている。 | ◇年表として巻末に11ページにわたり、まとめられている。また、章ごとに時間軸が示されている。 |